

# 學 報

Kobe College Bulletin

2025年 神戸女学院  
創立150周年

150<sup>th</sup>  
Bridging Generations

ISSN0389-164X

NO. 200

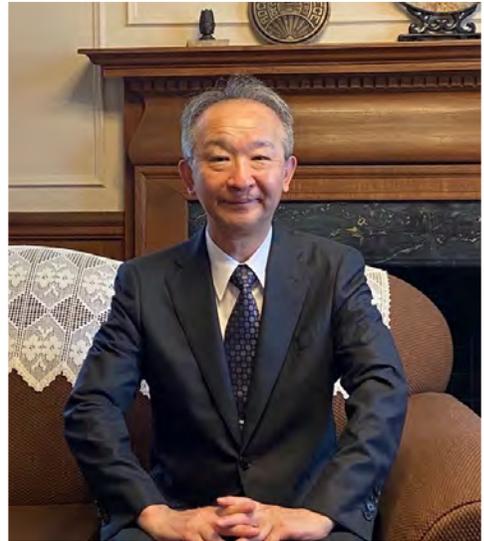
2025. 7. 10  
神戸女学院  
学報委員会

## 2025年——創立150周年を迎えて

院長 飯 謙

本年、神戸女学院は創立150周年の節目を迎えました。10月12日には記念式を開催します。イライザ・タルカット先生とジュリア・ダッドレー先生が3名の寄宿生、23名の通学生をもって神戸・山本通に開設された小さな女学校が、長い年月にわたって担い手を与えられ、志が引き継がれ、労苦と努力を重ね、記念の時へと導かれました。これは漫然と時間が流れて、当然のようにめぐってきた出来事ではありません。18世紀の米国で思想と信仰を牽引したジョナサン・エドワーズ (1703-1758) の言葉を借りるならば、「神の手があなたを支えたということの他に理由はない」(「怒れる神の手のうちにある罪人」1741, p.15)。この機会を、自らの努力を賞賛するのではなく、神の導きに感謝するときとして覚えたく思います。

本年は他にも、創立151年以降に続く神戸女学院の歴史に大きな変化をもたらす出来事があります。4月1日、文部科学省による私立学校法の施行、それに伴って変更が加えられた本学院の寄附行為も運用が開始されました(2024年10月24日改正、2025年3月3日認可)。今回の私立学校法は学校法人が自らチェック体制を確立させることを主眼に置いています。40年も前、学校法人の運営は「護送船団方式」と呼ばれ、行政の強い指導と規制の下にありました。しかし特に大学について言えば、20世紀末から大綱化によって、各法人がそれぞれの責任で特徴ある教育・研究を行うことが奨励されるようになります。従来は定型的であった学部・学科の名称もカタカナ化、個性的独創化がなされ、また教養教育の縮



小も日本中の大学に広く観察される事象となりました。今回の私立学校法改正では、改めて、それらの運営と責務が個別の法人にあることを明確にしたと解せます。学院で行われた寄附行為の改訂作業は、法令に沿うこと、立学の精神の継承、決断の迅速化を念頭に進められました。多くの方々から意見を伺いながら、関連規程の整備まで含めると、1年半ほどの時間をかけて(なお未完了の事案もありますが)完成を見ることができました。お骨折りくださった皆様に心より御礼申し上げます。

今回、寄附行為における大きな変更は、これまで理事長に充てられていたキリスト者条項を、「キリスト教の理解者」へと広げた点です(寄附行為細則

第3条第3項)。学校法人運営の責任を負ってくださる方を、より広い領域からご参加いただけるよう検討を重ねました。何度か関連会議で意見交換し、他法人の実例も参考に、導入を話し合いました。これをどのように性格づけるか——キリスト教の受け止める方途や視座について考えると、日本にはプロテスタントに250を超える教派やグループがあり(『キリスト教年鑑』による)、その現実から「キリスト教の理解者」を整理する議論の切り口は容易に設定できません。しかしミッションスクールとして創立された神戸女学院には、明確な教派的背景があります。永久標語「愛神愛隣」からもその思いが読み取れます。創立以前からの要素と本学院の歩みを勘案して、主要な項目として隣人愛に代表されるキリスト教の価値観を挙げ、本年4月理事会で「キリスト教の理解者」(寄附行為細則第1条第3項)について」という表題の文書制定に至りました。

この文書は、本学院の創立に深く関わった米国教会衆派教会およびアメリカンボードの形成とその信仰理解に始まり、隣人愛の理解、「小さな者」への視点、自己相対化の理念の諸項目よりなります。自らの考えを絶対化することなく、困難のうちにある人とともに歩む志のもと、神の愛を分かち合う在り方。これは私たちの先達の信仰に学ぶ視点でもあります。とはいえ、この文書によって本学院におけるキリスト教への理解を固定するというものではありません。学院に連なる人、お一人お一人が自ら聖書を読み、この課題に関わる議論に参与する契機となればと思います。プロテスタントの起点である宗教改革の主要命題は「聖書のみ(が信仰の基準)」でした。学校でキリスト教が生きているということは、条規や制度上の後ろ盾ももちろん大切ですが、その理解についての活発な意見交換がなされる中で体感されるものであると考えます。この企図によって、神戸女学院を構成する人たちの中で、立学の精神がいつそう深められるよう願うものです。

神戸女学院の教育理念に関わる議論の活性化と深化に心を馳せまうとき、私は改めてC.B.デフォレスト先生の“Beauty becomes a college”を思い起こします。元来は本学院の岡田山移転に際し、デフォレスト先生が感謝と喜びを込めて『めぐみ』第22号(1933年7月)に投稿された英詩です。創立125周年

を祝う2000年には、学院の要請で音楽学部作曲学教授であられた澤内崇先生(現名誉教授)が曲をつけ、これが『記念歌』“The Anniversary Hymn”という名で、いわゆるスクールソングの一つに制定されて、今日、学内の式典や行事、会合、演奏会などで歌い継がれています。2000年以前の卒業生の皆様には少々馴染みがないかもしれませんが、本年6月のめぐみ会支部長会で一同で歌い、皆様が印象深く思い入ったと伺いました。本年は記念歌制定25周年の祝年でもあります。

振り返りますと、私の神戸女学院奉職直後となる1984年5月に挙行された「岡田山キャンパス移転50周年記念式」で、この詩は当時高等学部生の藤原有佳子さんが第8代院長の有賀鐵太郎先生による邦訳で、英文学科生の安井祥子さんが原文で暗唱されました。さらに創立100周年を前にした1970年7月の『学報』第43号では、当時の有賀院長が「美は学園にふさわしく一百周年をめぐして」との表題でこの詩を取り上げ、作品に用いられた「美」(Beauty)と「知恵」(Wisdom)と「奉仕の愛」(the Love of Serving)をキーワードとしながら、神戸女学院が志す「根源的真理感覚」が込められていると評しています。「美」という他者の善意、学舎で与えられた学識、それを他者への奉仕に向けていく。そう考えますと、この詩は学院が節目毎に立ち帰ってきたことばであると思えます。学院が受け止めたキリスト教の理解です。

岡田山移転は、同窓会の熱意、KCCの日本に女性のためのキリスト教大学(高等教育機関)をとの祈りに応えた米国の教会に連なる人々の献げもの、関係者の努力により実現しました。キリスト者であられない方も力を注いだ理解者でした。創立150周年という感謝の機会を、他者に仕えるという聖書の使信を、改めて心に刻む時といたしたく存じます。

私は2018年4月に院長に就任し、同時に理事会の互選で、理事長職を拝命しました。このたびの改正寄附行為施行にあたって繰り上げで理事長職の任期を満了いたしました。不見識、不十分な働きを忍耐してお支えくださいました皆様に、心より御礼申し上げます。後任として、本年6月19日に立石浩一氏が理事長に就任されました。これまでと同様にご支援助くださいますようお願いいたします。

## 女子大学、変わらず

学長 中野 敬一



昨年度に新設した「国際学部」と「心理学部」に続き、今年度は「生命環境学部（生命環境学科）」を開設しました。同学科には、環境科学・生命科学・情報科学・サイエンスコミュニケーションの4領域があり、それぞれにデータサイエンスを活用します。とくに環境科学領域では「建築」を学ぶことができるのが特長であり（二級建築士・木造建築士の受験資格が取得可能）、受験生の関心を集めています。

これまで多くの方々のご協力を得て改組に取り組んできましたが、ここで一区切りとし、本学は5学部体制の大学として多様な教育活動を推進してまいります。各学部も独自性や特色を追求し、教育の一層の充実を目指して努力しているところです。

ただし、大学改革は今後も継続せざるを得ない状況にあります。少子化の影響により、現在の大学進学者数63万人が2040年には46万人に減少すると予想されています。この予測を踏まえ、中・長期的な将来計画の見直しが重要となります。

とくに女子大学の存続は厳しく、共学化を進める他の女子大学に関する話題も続いています。女性のみを対象とすると、入学志願者の母数が半減し、数的に厳しくなることは事実です。しかし、女性がジェンダーバイアスにとらわれず、自由かつ主体的に行動できる環境の重要性は変わりません。人種や性別、年齢、国籍などの属性にとらわれることなく、一人ひとりが自身の能力や才能を存分に発揮できる社会の実現には、女子大学の存在が不可欠です。本学は女性教育機関として邁進してまいります。

幸いにも本学は、150年にわたる歴史と伝統、類を見ない教育環境、同窓生をはじめとする関係者の皆様からのご支援など、有形・無形の豊かな財産が蓄積されています。私たちはさまざまな方策を講じることが可能です。知恵を結集し、大学が持続可能となる取組みを模索してまいります。

## 150年のその先も

中学部・高等学部部長 森谷 典史



創立150周年の年を迎えました。今年では中高部では、PTA やめぐみ会からの支援を受け、様々な講演会を予定しています。卒業生や、著名な方を通して、生徒たちの将来に希望が与えられるお話を聞けることを楽しみにしています。そして、50年後の200周年記念のときに、いまの生徒たちが学校に来て、講演会でお話をしてくれる姿を想像すると、それだけでうれしくなります。

家庭画報の4月号に「学び舎の桜」の特集で、中学部の入学式の様子と桜が取り上げられました。懐かしく感じられた方も多かったと思います。中高部では、今年も、J1 キャンプ、入学式、始業式、春の遠足（六甲山）、バザー、体育祭とたくさんの行事とともに、学校生活が進んでいきます。特に毎朝の礼拝は変わることなく、讃美歌を歌い、暗誦聖句をとえ、奨励を聞き、私たちが生きていくうえで本当に大切なことを、毎日毎日考える機会が与えられています。この良き伝統が、続けられてきたことにおどろき、感謝いたします。

卒業生の皆さんは、講堂での礼拝を思い出すこともあるでしょう。5月24日に行われました、愛校バザーでは久しぶりに懐かしい顔に出会うことができたでしょうか。中高生時代の思い出が、良き思い出として、あなた方の人生の支えとなっていたら、それは大変うれしいことです。

神戸女学院の中庭に立ち、周囲を見渡すと図書館、理学館、講堂、文学館の建物と、空しか見えません。グラウンドの真ん中に立ち周囲を見渡すと、大学寮、めぐみ会館、中高部の校舎、講堂、体育館施設そして空しか見えません。世の中の雑然としたものが何も見えない不思議な空間であることに改めて驚き、幸せを感じることができます。

100年後も、変わることなく、神戸女学院が愛され、続いていくことを願っています。これからもますますの、応援、励まし、ご協力をお願いいたします。

KCCだより

KCC-JEE 理事 水野 多美

[KCC (Kobe College Corporation) は1920年、第5代院長デフォレスト先生の尽力により、神戸女学院を支援するため、アメリカ合衆国イリノイ州に設立されました。以来、1933年のキャンパス移転の資金援助や、日米両国の学生生徒の文化交流、教師派遣など、神戸女学院は物心両面で大きな恩恵を受けてきました。2003年、KCC はその活動範囲を拡大するため、“Japan Education Exchange” を付け加えて、KCC-JEE となりました。]

創立105年を迎える KCC では、理事は現在13名からなり、ボランティアとして活動を続けています。

KCC 理事の様子をお伝えするために以下の質問と回答をご紹介します。

1. Name
2. Where do you live?
3. When did you join to KCC?
4. How did you connect to KCC?
5. What are your activities in KCC?
6. Why do you like KCC's Activities?
7. Something Else?

- 
1. 大東 由季
  2. カリフォルニア州
  3. 2012年に中高部英語教員の選考委員会に加わり2013年から理事
  4. KCC のことは、在学中にもよく聞いていましたが、中高部を卒業後進学した大学の近くに KCC のオフィスがあり、時々年次総会に参加したり、お世話になりました。
  5. 現在は、Development committee、ニューズレター委員会、会長。  
中高部英語教員の選考委員会、Development Committee、年次総会企画委員会、ニューズレター委員会、会長を経験。
  6. 創立者たちから引き継いでいる精神、隣人を愛し、勇敢で、時代の先をいく女性を世界に送り出す神戸女学院が続くように、少しでもお役に立てたら、と思います。

1. Ken Tornheim
2. Deerfield, Illinois (Suburb of Chicago)
3. Year 2012
4. My firm was the long-time auditing firm for KCC-JEE (over 20 years) and I was the partner in charge of the audit engagement for about 7 years prior to joining the KCC-JEE Board.
5. I serve as the Treasurer and Chair of the Finance Committee. I am also a member of the Executive Committee and the Board Development Committee.
6. I have a strong passion for cross cultural relations between the United States and Japan and the program activities of KCC-JEE help satisfy that passion. I also enjoy assisting the organization with monitoring its finances using my work skills as a Certified Public Accountant (CPA).
7. Something else? I have traveled to Japan many times over the past 40 years and had the pleasure to visit Kobe College in 2014. My wife and I enjoy traveling, with an emphasis on international travel. I am also an avid Chicago Cubs baseball fan and have been a Cubs season ticket member for nearly 35 years.

1. Cindi SturtzSreetharan
2. Scottsdale, Arizona
3. Year 2003
4. I affiliated with KC for the inaugural KCC Graduate Fellowship. I was a “Beulah B Scott Fellow”. And because I was study in Kansai ben, I was able to affiliate with KC in 1998-2000 to conduct my PhD research.
5. VP Programs, Fundraising Development, Chair Bryant Drake Guest Professor, Essay Contest, Graduate Fellowship.
6. I firmly believe that people need to understand Japan and the many ideas it offers.
7. Something else: given the importance of Japan in the Asia Pacific, now is the time to fortify relationships among nation, KCCJEE and KC are part of this effort.

1. Roberta Wollons
2. Quincy, Massachusetts, near Boston
3. I joined KCC-JEE in 1997

4. I was doing research on the history of KC founders at Kobe College and was asked to give a talk to the Board, then became a member of the Board.
5. I have been KCC-JEE President, Vice President of Programs, Graduate Fellowship Committee, and Annual Meeting Committee
6. I believe in the education exchange mission of KCC-JEE and the importance of our relationship with KC and Japan. Over time, our programs have changed the lives of the participants, which is very gratifying.
7. Something else? I am a historian studying women missionaries who went abroad to build schools in the 19th century. Two of my subjects were the founders of Kobe College.

My name is Go Sugiura, and I am in retirement since 2010.

I joined the Board of Kobe College Corporation (KCC) in 2005, succeeding my wife, Kaoru, who had ended up serving for the Board for over 20 years. Thus, between us, we will have served KCC for over 40 years. My wife passed away in January 2023.

Currently, I am assigned to be Chair of the Board Development Committee, which is to recruit prospective Board members whenever there is a vacancy. At present, we have 13 Board members.

In addition to serving in this capacity, my wife and I have had many occasions to meet KC, as well as KCHS, students and graduates, which give us fond memories in our lives.

After having lived in Chicago close to 60 years, I now live in California, a suburb of San Francisco, and am enjoying my retirement life.

Let me wish you all the very best in your life at Kobe College, a fine school in the beautiful campus.

1. Elizabeth Hartung-Cole
2. Topsham, Maine
3. Year 2018
4. I am a former missionary at Kobe College Junior and Senior High School (1977-1981). A Board member who had been a former student of mine contacted me and asked if I would be interested in joining KCC-JEE.

5. I am currently the co-chair of the Gottschalk Teacher Committee, and also serve on the Board Development Committee and on the Evaluation Committee.
6. It is an honor to help hire Gottschalk Teachers so that other educators can share the joy I had of working with the wonderful Junior and Senior High School students at Kobe College.
7. It is a deep pleasure to continue to communicate with many of my former students!

1. Toyoko Kodama
2. Washington DC, USA
3. Year 2019
4. Alumna
5. Gottschalk Teacher Recruitment, Program Evaluation
6. Because it directly supports KC.
7. Unfortunately, I am stepping down as a KCC board member, as I will be moving out of the U.S. on a job assignment this summer.

1. Liv Coleman
2. Bradenton, Florida
3. Year 2019
4. When I was younger, I received the essay contest award for summer homestay and language study in Kobe, Japan. When I was a graduate student, I received the Graduate Fellowship for Ph. D. research in Japan. Both were essential experiences for my career formation. I was so grateful and pleased to be able to give back to the organization.
5. Graduate Fellowship Committee, Bryant Drake Fellowship Committee, Development Committee
6. It's inspiring to help young people achieve their dreams and to nurture intercultural partnerships at all levels of higher education. My fellow board members are also great people to work with.
7. I'm proud of this organization and all that it accomplishes to create intercultural experiences, year after year.

1. Dr. David P Janes
2. Tarrytown, New York
3. Year 2024

4. Former Chancellor Mori Koichi first introduced me to KCC and I met Go Sugiura and learned more about the exciting organization.
5. High School Essay Contest Committee
6. They help develop an appreciation of Japan and deepen connections between Japan and the U.S.
7. It is a deep honor to be involved in KCC

1. Angie Gaspar
2. I live in Broomfield CO (not Bloomfield).
3. Year 2006
4. I was teaching in Fukuoka-Ken on the JET program in the late 90's My dad's first cousin, Doug (and Marjorie Kinsey) found out and contacted KC. I was invited up for the day for the ribbon cutting ceremony of a new building named after my great-great-great aunt, Julia Dudley, co-founder of KC. I met many KCC-JEE board members that day.

Years later, I was doing a genealogy drive across country with my cousin and stopped at Rockford. I remembered Brad Lauman worked there and looked up his office. Fortunately he was there and connected me to an archivist at the school. He also asked if I'd be interested in serving as a board member. I've been on the board since.

5. I've served as secretary on the Executive Board. I've worked on the internship and essay contest committees (the latter I am current chair). I also helped organize annual meetings/programs for years.
6. I know how much these types of programs can change a young person's life. I have stayed in touch with former interns and essay contest winners and hear how this experience changed their lives. I love giving back!
7. I am an ESL teacher in an alternative high school in Colorado and I have two children who got to visit Kobe College!

1. Abbi Mayland
2. Minneapolis, Minnesota
3. Year 2019
4. I was a Gottschalk Teacher at KC from 2017-2019
5. Gottschalk Teacher Recruitment and KCC-JEE newsletter

6. I am passionate about cross-cultural education, so I really enjoy being a part of KCC-JEE. I also like to stay connected to Kobe College Junior and Senior High School's English program.



Abbi Mayland さんご家族

1. Seiko Okada
2. Chapel Hill, North Carolina
3. Year 2024
4. I learned about KCC by the Megumi kai journal and from Yuki and Toyoko
5. I will assist the Gottschalk teacher's committee to identify and select Gottschalk teachers
6. KCC has many meaningful activities such as Gottschalk teachers program, essay contest, and Suehiro scholarships. I like working with my fellow board members.
7. I look forward to serving for KCC's goals.

1. Tami K Mizuno
2. San Diego, California
3. Year 2014
4. I graduated from KC. While I was in NY/NJ area, our Alumna told me to help KCC's activities and support KC.
5. Works as VP Administration/ Secretary. Finance Committee and Annual Meeting Committee.
6. As Alumna I would like to connect and support KC.
7. I am happy in La Jolla/ San Diego with a lot of Sunshine and nice nature view, after one year in Kyoto.

今年、150周年を迎える KC とともに活動できることに感謝と、これからのより大きな発展への期待の気持ちを込めて、皆様のみますますのご健康をお祈りします。

## 創立150周年に向けて

学校法人神戸女学院では、本年10月に迎える創立150周年にあたって、下記の取り組みを進めております。

### ■新棟建設、西門からの歩車分離

新棟の名称が『小林季子（こばやしすえこ）記念館』に決まり、2024年7月29日に起工式を行いました。



### ■正門および門衛舎の改修

耐震性能強化のための解体修理を行っています。2025年度内に修理等が完了する予定です。



### ■フラッグの設置

正門やデフォレスト館、講堂、中高部葆光館の前に創立150周年の記念フラッグを設置しました。



### ■桜並木の復元

2025年2月3日に植樹式を行い、正門、音楽館前ロータリー、文学館横およびグラウンドなどに約40本の桜を植えました。



### ■大型ポスターの設置

講堂横の廊下に創立150周年を記念した大型ポスターを設置しました。



### ■ユニバーサルマナープログラムの実施

2023年度より大学1年生と高等学部1年生全員を対象にユニバーサルマナー検定3級講座を実施しています。講座の学びを実践する活動として、2024年度は岡田山キャンパスのバリアフリーマップ作成、西宮市立北口図書館のサービスを広報するイベントを開催。2025年4月20日には西宮市市制施行100周年記念式典での案内誘導を行いました。

### ■創立150周年記念特設サイト

創立150周年記念特設サイトに、社会で活躍する卒業生の応援メッセージ、創立記念日に向けてのカウンタダウン記事等を掲載しています。

【サイト URL】 <https://150th.kobe-c.ac.jp/>

(神戸女学院150周年事務局)

## 神戸女学院創立150周年記念展示Ⅲ

「Bridging Generations

—神戸女学院の150年と織りなす未来—

### 開催について

季節外れの陽気に包まれた2025年5月20日(火)、図書館本館ホールにて、創立150周年記念展示Ⅲ「Bridging Generations—神戸女学院の150年と織りなす未来—」のオープニングセレモニーが開催されました。

司会の理事長・院長室課長のもと、黙禱に始まり、中野敬一学院チャプレンによる聖書朗読と祈禱が捧げられました。続いて、来賓としてご出席くださった株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所顧問・中山猷児様、公益社団法人神戸女学院めぐみ会の米津博子会長ほか副会長のお二人をご紹介します。

今回の展示にあたっては、(株)一粒社ヴォーリズ建築事務所からスケッチ類、(公社)めぐみ会からは『めぐみ』誌発行許可状などの貴重な資料をはじめ、(株)日活、(株)日建設計、(株)竹中工務店などからも多大なご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

飯謙理事長・院長からは、図書館に3年計画で展示を依頼した経緯に触れつつ、神戸女学院の歴史は宣教師を派遣したアメリカンボードを出発点とし、学校単体ではなく多くの人々の参与によって織りなされてきたことが語られました。また、北寮で撮影された日活映画について「この展示を通して新たな思いと交流が生まれることを願っている」という言及がありました。

私は、展示の構成と見どころについて紹介いたしました。卒業生からのメッセージをはじめ、山本通・岡田山両キャンパス、未来を見据えた展示構成となっています。市川榮之助の手書き聖書(複製)、オルチン文庫の讃美歌(複製)―いずれも原本は本学貴重書庫に大切に保管されています―や、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ直筆のスケッチや設計図、日活映画の上映など、豊かな歴史と未来への希望を感じる展示となっています。

閉会后、来賓の方々は図書館職員の説明を受けながら展示を見学されました。

(図書館課長)



オープニングセレモニーにて

## 2025年度 愛校バザー報告

学院の特別な年に当たる今年は「創立150周年記念愛校バザー」として、5月24日(土)に、朝からそれほど降るめぐみの雨の下、建物内での設営により無事に開催することができました。

当日朝の空模様に応じての変更対応となったため例年より慌ただしい準備となりましたが、礼拝が予定通りの時刻にまもられた後、本部席にて院長の飯先生からの高らかな開会宣言が発せられ、一斉に開店しました。めぐみ会、中高部生徒とP.T.A.、大学生と院生、そして教職員が奉仕の心で一つとなり、愛校心の高まりを覚える大切な一日の始まりです。

また、今年は図書館本館閲覧室にて開催中の「創立150周年記念展示Ⅲ」にて学院の歴史を振り返る貴重な資料が鑑賞できることから、こちらにも多くの方が足を運んでくださり、ホームカミングデーとして岡田山に帰ってこられた同窓生や旧教職員はもちろん、初めて学院を訪れていただいたお客様にもご満足いただけたかと存じます。いつでも「お帰りなさい」と迎え入れてくれる母校に集い旧交を温めながら、往時のままの豊かで美しい岡田山に満ち溢れる愛神愛隣の精神を覚え、その永続を祈る1日となったならば幸いです。

こうして皆さまのお力添えのおかげで「創立150周年記念愛校バザー」が盛大に開催できましたことを、感謝と喜びをもってご報告申し上げます。来年度は2026年5月23日(土)に開催予定でございます。どうぞ挙ってお運びください。

(学院事務局長)



本部から開会宣言をされる飯院長

## 創立150周年記念募金

(神戸女学院教育振興会寄付金)

## 2024年度 神戸女学院家庭会幹事会報告

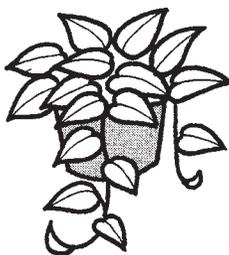
実施日：2024年6月29日(土)

内容：2024年度役員・幹事の選出、2023年度決算  
及び2024年度予算案の承認

### 2024年度ご寄付実績

区分	件数/冊数	金額(円)
同窓生	543件	42,572,020
在校生	5件	312,008
保護者(大学・中高)	125件	8,933,000
役員(教職員を除く)	11件	2,010,000
教職員・旧教職員	68件	4,315,000
法人・団体	42件	7,526,923
一般有志	49件	3,797,210
金銭によるご寄付計	843件	69,466,161
古本募金によるご寄付	5,514冊	418,579
寄付金額合計		69,884,740

※複数の区分に該当する方の場合、事務処理上妥当と思われる区分を選択しております。



## チャプレン室報告

2024年度 春季宗教強調日礼拝  
(創立者記念日礼拝)

日時：5月24日(金) 10時35分～11時25分

講師：院長 飯 謙

## 2024年度 宗教強調週間

〈 11月11日～11月15日 〉

11月11日(月)

早天祈祷会 音楽学科 3年生  
 中高部礼拝・チャペルアワー  
 学長・学院チャプレン 中野 敬一

11月12日(火)

早天祈祷会 高等学部 2年生  
 中高部礼拝「隣人との間にいます主イエス」  
 チャペルアワー「主イエスとの出会い」  
 全教職員礼拝・永年在職者表彰式  
 「可能性の種を信じて」

日本聖公会大阪教区主教、  
 (学)プール学院理事長、  
 (学)桃山学院学院長 磯 晴久

11月13日(水)

早天祈祷会  
 環境・バイオサイエンス学科 3年生  
 中高部礼拝「弱くされた者と共に生きる」  
 チャペルアワー「最も小さい者の一人」  
 (福)イエス団理事・賀川記念館館長、  
 生活協同組合コープこうべ理事長 馬場 一郎  
 学生寮夕拝「心に光を受け止める」  
 日本基督教団東神戸教会牧師 大澤 宣

11月14日(木)

早天祈祷会 高等学部 3年生  
 中高部礼拝「初めに、ことばがあった」  
 チャペルアワー「初めに、ことばがあった」  
 めぐみ会宗教講話「初めに、ことばがあった」  
 順天堂大学名誉教授、  
 新渡戸稲造記念センター長、  
 恵泉女学園理事長 樋野 興夫

11月15日(金)

早天祈祷会 総合文化学科 4年生

中高部礼拝・中高部 PTA のための宗教講話

移民支援団体 immi lab 代表 北川 実萌  
 アッセンブリアワー「卒業生によるコンサート」

## 2024年度 クリスマス

〈 礼 拝 〉

・中高部クリスマス礼拝

日程：12月18日(水)

説教：日本基督教団豊中教会牧師 山崎 道子

・大学クリスマス礼拝

日時：12月20日(金) 12時～13時

説教：院長 飯 謙

・学院クリスマス礼拝

日時：12月20日(金) 18時30分～20時

説教：中高部チャプレン

〈 プレゼント報告 〉

送付先：大阪水上隣保館、神戸真生塾・真生乳児院、  
 白河めぐみ学園・白河こひつじ学園

〈 クリスマス献金報告 〉

中高部	32,534円
大学クリスマス礼拝	50,110円
学院クリスマス礼拝	128,183円
学生・教職員 献金箱	61,852円
合 計	272,679円

内訳：

(特非)チャイルド・ファンド・ジャパン 96,000円  
 石川県 30,000円  
 日本基督教団社会委員会教団社会委員会 20,000円  
 (福)光湖会オリンピア 11,679円  
 大阪水上隣保館、釜ヶ崎いこい食堂、曙教会(長島  
 愛生園)、(福)イエス団、immi lab、(福)「ゼノ」少年  
 牧場「ゼノ」こぼと園 各10,000円  
 日本キリスト教海外医療協力会、インド三浦後援  
 会、日本基督教団部落解放センター、(福)イエス団  
 真愛ホーム、(福)あゆみ学園、日本基督教団兵庫教  
 区長田活動センター、ペシャワール会、(福)関西盲  
 人ホーム、日本キリスト教社会事業同盟、国境なき  
 医師団、(学)日本聾話学校 各5,000円

(チャプレン室)

## 2025年度 年間標語

「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」これが最も重要な第一の戒めである。第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」

(マタイ 22:37-39)

\*『聖書協会共同訳』

学院チャプレン 中野 敬一

神戸女学院創立150周年記念の年には、学院永久標語「愛神愛隣」の聖書箇所がもっともふさわしいと思います。

「神を愛し、隣人を愛しなさい」。このシンプルな戒めには、「実践すること」が求められています。愛は抽象的な概念ではなく、具体的な行為をとるものです。この聖句に従って海を渡り、異国の地に学院の礎を築かれた宣教師の方々をはじめ、数えきれない多くの人々の行為によって今日の神戸女学院は存在しています。

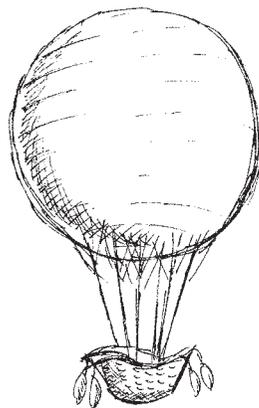
社会の風潮や時世が変化し、神戸女学院はこれまで危機的な状況に何度も陥りました。けれども、人知を超えた神の祝福と人々の愛のわざにより、多くの困難を乗り越えてきたのです。そのことを私たちは学院の歴史を通じて学んできました。

今を生きる私たちも、自らの行為が未来の神戸女学院を築くことを信じて、あらためて「愛神愛隣」の実践に励みたく存じます。主の恵みが永遠に豊かにありますように。

※2025年4月より本学院は新しい翻訳による『聖書 聖書協会共同訳』を使用しています。

日本聖書協会は、明治元訳、大正改訳、口語訳、新共同訳、と約30年おきに聖書を改訂、あるいは翻訳をしてきました。これまで使用してきた『聖書 新共同訳』は1987年に、『聖書協会共同訳』は2018年に発刊されました。この間の研究成果による翻訳になります。

現在、各教会・各学校において導入の有無が検討されています。本学院は、神の言葉を新鮮な思いで「聴く」ことが、150周年という節目から新しい時代に向かう時期にはふさわしいと考えました。



## 大学報告

### <大学改革の取り組み>

#### 文学部

##### 新カリキュラム始動

2026年に開設50周年を迎える総合文化学科では、人文科学、社会科学にわたる幅広い研究領域を俯瞰的に見渡し、複数領域を関連づけた教育を行い、多角的な眼差しと問題解決能力を身につけ、自身のことばで発信することのできる学生の育成を行ってきました。

2025年4月入学生より開始した新カリキュラムでは、8専攻科目群から2専攻科目群を選択して学ぶ形を改め、学生自身が「人間」「文化」「社会」の3領域から主体的な科目選択を行う課題探究型とし、より柔軟に個々の興味や関心を学問分野に結び付け学修を深めることを可能にしました。3領域の全科目は、「入門科目」（具体的事象を出発点にして学問に触れることに焦点を置いた科目群）、「概論科目」（学問の全体像を体系的に伝えることに焦点を置いた科目群）、「専門科目」（概論科目で示した学問体系の一部に焦点を置いて解説する科目群）に区分し積み上げ式に配置しています。これらに加えて、専門的な学びや研究方法をサポートするための科目を新設し、「外国語プラス」では発展的な語学教育を行います。座学とフィールドワークとを組み合わせた「プロジェクト科目」は「総文プロジェクト」として、新たに1年次後期から履修可能な科目を開講し多様で開かれた学びを提供しています。

力を入れているゼミ教育では、1年次の「入門ゼミ」、2年次の「探究ゼミ」から3、4年次の「専門ゼミ」まで全て専任教員が担当し、特に1、2年次については個々の学びの状況を確認する学修計画書（改訂版）によって、段階を追って学びを深めることを促し学生に寄り添った指導を行っています。優秀卒業論文集である『岡田山論集』を今春卒業生掲載号よりWeb公開にする等、新しい試みも加え、より活気ある教育の場を目指し改革を重ねています。

（文学部長 藏中 さやか）

#### 生命環境学部

2025年4月、生命環境学部が新たにスタートし、94名の新入生を迎えました。本学部の設立は、本学の教育理念に基づく大学全体の改革の一環です。

現代社会は、地球温暖化や生物多様性の減少、感染症のリスクに加え、社会格差、人権、教育、ジェンダーなど、複雑で多様な課題に直面しています。これらの解決には、科学的視点と人文・社会科学的な視野を併せ持つ人材が求められます。本学部では、「自然と人間が共に生きる持続可能な社会」の実現を目指し、生命現象の科学的理解と人々の暮らしへの貢献の両立を重視しています。

また、二級建築士・木造建築士の受験資格が得られるようになり、建築分野での専門性も高められます。本学キャンパスには重要文化財のヴォーリズ建築が数多く残されており、歴史的建築物に囲まれた環境で学べることも大きな魅力です。学生は文化や歴史、自然を踏まえながら、これからの建築の在り方を深く学んでいきます。

本学部では、「サステナビリティ＝人間・社会・地球環境の持続可能な発展」の実現に向け、体系的なカリキュラムを整備しています。数理的推論力、データ読解力、文章力、語学力といった基本的リテラシーに加え、論理的思考力や課題解決力、構想力、専門知識と実践力を身につけます。さらに、地域や企業と連携した学びにも力を入れ、実習やフィールドワークを積極的に導入しており、学生は現場での経験を通じて、考え、行動する力を養います。

生命環境学部は今後も「生命」と「環境」に真摯に向き合い、持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成をめざし、教育の充実と改善を続けていきます。学生が自然と共に生きる未来を見据え、自ら学び、行動し、社会に新たな価値を生み出す力を育てる場となることが、学部の使命です。

（生命環境学部長 横田 弘文）

## 地域連携の取り組み

### —芸術文化振興に関する協定締結—

音楽学部は2024年度より「音楽表現専攻」「音楽キャリアデザイン専攻」2専攻で新カリキュラムをスタートしました。

それに先立ち、2024年3月に兵庫県と「芸術文化振興に関する協定」を締結し、兵庫県立芸術文化センターと連携して、音響照明などの技術面や課題解決型学習などの学生の学びを早速開始しています。

また、2025年3月にはザ・シンフォニーホールと「芸術文化振興に資する人材育成の連携協定」を締結し、学生とホールが協力してイベントの企画制作を行っていきます。(2025年度イベント本番は2026年2月27日を予定しています)

音楽学部ではこれまでも、宝塚ベガ・ホールでの「ベガにオーケストラがやってきた！」コンサートシリーズを毎年開催し、また西宮市文化振興財団との連携による吹奏楽クリニックの開催、2025年4月には西宮市市政施行100周年記念式典で学生たちが祝歌を演奏するなど、地域連携を活発に行っておりますが、兵庫県立芸術文化センターとザ・シンフォニーホールという関西の芸術文化拠点との協定締結により、学生の学びの可能性も、地域文化への展開も、さらに大きく広げていきたいと願っています。

協定締結にご尽力くださった皆様に感謝申し上げます。神戸女学院大学音楽学部がこれまで以上に、地域の芸術文化に寄与する人材を育て、社会に送り出していくことができますように、お見守りいただきましたら幸いです。

(音楽学部長 なかにし あかね)



ザ・シンフォニーホールとの協定締結式 (2025年3月19日)

## 地域連携への取り組み

### —高大連携協定—

教育に係る交流を通じて大学と高校の教育を相互に活性化させることを目的として、連携教育に関する協定を15高校と締結し、学生生徒及び教職員の相互交流を図っています。

具体的な連携教育事業として、本学教職員による模擬講義及び大学見学等の実施、及び探究学習のサポート。また、本学学生の教育実習やボランティア等の当該高校での受入れ等を実施しています。

今後も本学のリベラルアーツ教育に理解があり、高大双方にメリットが見込まれる高校との協定締結を進めてまいります。

(現在の協定締結校 ※現校名)

高校名	締結年月
和歌山信愛高等学校	2008.10
兵庫県立西宮高等学校	2011. 3
大阪女学院高等学校	2014.12
プール学院高等学校 (大阪府)	2015. 2
梅花高等学校 (大阪府)	2015. 3
帝塚山学院高等学校 (大阪府)	2015. 3
大阪信愛学院高等学校	2017. 3
仁川学院高等学校 (兵庫県)	2021.12
兵庫県立須磨友が丘高等学校	2022. 5
兵庫県立宝塚西高等学校	2022. 6
神田女学園高等学校 (東京都)	2022. 6
兵庫県立姫路飾西高等学校	2024. 5
兵庫県立尼崎小田高等学校	2024. 6
兵庫県立西宮苦楽園高等学校	2024. 6
親和女子高等学校 (兵庫県)	2025. 3

(入学センター・広報室課長)



親和女子高等学校との協定締結式

## 国際連携の取り組み —交換留学協定締結—

国際交流センターでは、本学の教育の伝統—三つの柱の一つである「国際理解の精神」を展開すべく、様々な国際連携を推進しています。2024年度には、インドのセントジョセフ大学と台湾の東呉大学と交換留学協定を締結しました。セントジョセフ大学とは、これまでの文学部総合文化学科での交流のもとに派遣留学の協定を取り交わし、2025年4月より2名の交換留学生を受け入れています。東呉大学は、本学も加盟する ACUCA (アジアキリスト教大学協会) のメンバー大学で、台北にある人文社会学部、外国語学部、理学部、商学部、法学部とデータサイエンス学部を擁する総合大学です。2024年9月の現地視察とその後の交渉を重ねて、このたびの締結に至りました。早速2025年8月から1年間の本学からの派遣留学生が決定しています。また、従来あった中期英語留学と中期海外研修を中期留学に一本化しましたが、それに伴い同プログラムを募集する昭和女子大学と「海外プログラムに関する交流協定書」に6月に署名したのに加えて、オーストラリアのグリフィス大学と大学間協定 (MOU) を11月に結びました。

2025年4月には学院150周年を迎えるにあたりさらなる国際連携拡大のため、従来の兵庫県下の大学が参加する兵庫・アジア太平洋大学間ネットワーク (HUMAP) に加えて、UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific) アジア太平洋大学交流機構に新たに加盟しました。今後益々本学の国際展開が期待されます。

(国際交流センター課長)



東呉大学国際部ディレクターと筆者

## 大学新棟『小林季子記念館』での 教育研究の展望

大学新棟『小林季子記念館』では、地下2階が心理学部の心理学実験室エリア、地下1階が心理相談室エリアとなり、それぞれに複数の実験室、相談室が配置されます。新棟が建つ場所にはかつて理学館別館があり、その中に心理相談室と心理実験室がありましたが、部屋数も少なく構造上、相談活動や実験研究に支障の多いものでした。新棟の心理相談室エリアでは、臨床心理専門職 (公認心理師、臨床心理士) を目指す学部生・大学院生が、録画装置も備えた検査室・面接室で心理検査や心理面接を体験を通して学ぶ他、教員の指導の下で実習の一環として子どもや大人の来談者への心理相談を実施します。さらに心理系キャリアサポートルームのコンサルティング・ルームも配置して、幅広い心理系の職業の情報提供や学生の進路の相談・支援にも教学職員が対応します。心理学実験室エリアでは、学部生・院生の教育及び研究を展開します。学部生を対象とした心理学研究法の実習授業である「心理学実験」をはじめ、卒業論文や修士論文などを作成するため学部生・院生が実験や観察を実施してデータ収集を行います。さらに、教員が最先端の研究に取り組み、その成果を学生教育や社会的還元につなげます。このように新棟を最大限に活用して、心理学の教育研究のみならず、学生のキャリアサポートや心理学による社会貢献・地域連携にも邁進してまいります。

(心理学部長 石谷 真一)

## 学部報告（国際学部）

2024年度

## 高大連携協定模擬講義

Vaage 准教授

5月14日 兵庫県立西宮北高等学校

## 高大連携協定模擬講義

Jones 准教授

5月27日 LA I-1 兵庫県立尼崎小田高等学校

## 兵庫県立姫路飾西高等学校との高大連携協定締結

5月29日 理事室

## 映画上映・講演

映画：『ムクティ

—夢を諦めなかった女の子の物語—』

(52分)

(2023年度 Asian Studies 履修生による  
日本語字幕)

講演：「南アジア映画の女性表象

—バングラデシュの視点から」

シュボシシュ・ロイ 氏

(エクマットラ共同代表、映画監督)

6月11日 12:40~14:50 EB-201

## 脚本朗読ワークショップ

6月11日 15:00~16:30 JD-104

## 高大連携協定オンラインセッション

兵庫県立姫路飾西高等学校

Jones 准教授、南出 准教授、瀬戸 准教授、

白井 教授、Vaage 准教授、山崎 教授

6月21日 オンライン

## 高大連携協定第一回拡大探究推進委員会アドバイス

白井 教授

6月25日 14:30~17:00

兵庫県立西宮北高等学校

## 兵庫県立尼崎小田高等学校との高大連携協定締結

6月26日 理事室

## 兵庫県立西宮北高等学校との高大連携協定締結

7月4日 理事室

## 特別講義 “The History of Women’s Fashion in Japan”

Michael Furmanovsky 氏

(龍谷大学国際学部教授)

7月9日 9:00~10:30 オンライン

## 高大連携協定探究発表会

兵庫県立姫路飾西高等学校

Jones 准教授、南出 准教授、瀬戸 准教授、

白井 教授、Vaage 准教授、山崎 教授

7月18日 11:00~12:30 H-301

## 高大連携協定探究学習支援講義

“A note on carrying out research”

松尾 教授

10月2日 兵庫県立西宮北高等学校

## 英語劇 “Macbeth” 上演

THAT Production Company

10月5日 14:00~15:40 講堂 約60名

## 高大連携協定講演会

「美しい未来のために～自分に何ができるのだから～アフリカでの人類の歴史・教訓や知恵から学ぶ」

米川 教授

10月23日 兵庫県立西宮北高等学校

## 第15回神戸女学院大学絵本翻訳コンクール

Jones 准教授、中村 准教授、

増田 沙奈 氏 (翻訳家・卒業生)

応募申込・作品応募：6月3日～8月30日

1123件

作品応募：510作品

結果発表：10月11日 国際学部ウェブサイト

11作品

受賞者の集い：

10月26日 13:30~15:00

オンライン 受賞者14名、審査員3名

## 高大連携協定研究授業「英語コミュニケーションⅢ」参観、指導・助言

白井 教授

10月28日 兵庫県立尼崎小田高等学校

## 卒業生による講演会

日下 貴実花 氏

10月29日 12:35~13:15 L-34

### Field Study in South Africa 履修生によるオンライン発表会

南アフリカ・アフリカ研究者、活動家、  
メディア関係者対象  
10月31日 オンライン

### 第49回神戸女学院大学英語英文学会

特別講演

「帝国のホモ・サケル

——太平洋核実験をめぐる芸術の想像力と抵抗・レジリエンスの詩学」

小杉 世 氏

(大阪大学大学院人文学研究科教授・卒業生)

研究発表

「TBLTを意識したPPPベースの指導

—日本の中学校3年生での文法授業実践—」

西川 美咲 氏 (清教学園中・高等学校常勤講師)

「書簡翻訳にて再発見する作家の姿：

D. H. ロレンス研究会における文学翻訳活動の歩み」

藤原 知予 氏

(大阪産業大学国際学部国際学科准教授)

11月1日 14:00~17:20 オンライン 約43名

### 高大連携協定模擬講義

Wong 教授

11月1日 兵庫県立尼崎小田高等学校

### 高大連携協定模擬講義

Wong 教授

11月6日 兵庫県立尼崎小田高等学校

### 特別講義 “Every Telling is a Retelling: Different Ways of Translation – From Intralingual to Interlingual to Intersemiotic Translation”

Riitta Oittinen 氏

(University of Tampere、

University of Helsinki 名誉教授)

11月6日 11:00~12:30 L-23

### 特別講義 “Challenging Binary Sex/Gender”

L. Zachary DuBois 氏

(オレゴン大学文化人類学准教授)

11月13日 9:00~10:20 L-3

### 特別講義 「ちがいをこえて、いっしょに生きていく ために~多様な性から学ぶこと~」

吉川 ヒロ 氏

11月20日 9:00~10:30 L-3

### 特別講義 “Living together with migrants and refugees: How Japan can become a multiracial and multicultural society?”

浅倉 拓也 氏 (朝日新聞社記者)

11月20日 15:00~16:30 L-8

### Field Study in South Africa 報告会

E238(2) Field Study B 履修生、米川 教授

12月6日 10:35~11:25 L-28

### 学生主催国際学部・文学部講演会

「~あなたがあなたらしく輝くために

『ときめき』で選んでいく人生とは~」

近藤 麻理恵 氏 (片づけコンサルタント)

12月8日 13:00~14:00 LA I-21

### 特別講義 “Tomiyama Taeko (1921-2021): War Memory and Responsibility”

Rebecca Jennison 氏 (京都精華大学名誉教授)

12月18日 13:30~14:50 L-3

### 特別講義 「世界から見た日本のヒューマンライツ」

藤田 早苗 氏

(英国エセックス大学人権センターフェロー、

アカデミック・アクティビスト)

12月19日 11:00~12:30 LA II-45

### 特別講義 「演劇は光の道」

アハマド・サキ 氏 (バングラデシュ演劇活動家)

1月15日 11:00~12:30 L-28

### 高大連携協定模擬講義

Wong 教授

1月16日 兵庫県立尼崎小田高等学校

### 入学前交流会

2月5日 10:00~11:30 オンライン

新入生26名、上級生8名、教員4名

### 高大連携による模擬講義

「通訳・翻訳ワークショップ」

中村 准教授

7月8日、7月9日、9月9日、9月30日、  
10月7日、1月20日、1月27日、2月5日  
10:40～12:30 兵庫県立宝塚西高等学校

### 高大連携協定探究授業助言

白井 教授

3月10日 兵庫県立西宮北高等学校

### 第20回大阪アジア映画祭映画字幕制作

「SABA」(サバ) (Maksud Hossain 監督)

南出 准教授、Jones 准教授

作業：2月17日、18日、19日 オンライン (Zoom)  
3月1日 L-3

上映：3月17日 21:15 テアトル梅田4

3月22日 10:10 ABCホール

シンポジウム：「映画『サバ』ができるまで  
—マクスト・ホセイン監督の挑戦」

3月22日 13:30～15:00 Art Beat Café

### 2025年度

#### 国際学部 New Student Day 2025

4月4日 13:45～16:00 LA I-21、キャンパス  
新入生82名、上級生リーダー11名、教員16名

#### グローバル・スタディーズ学科 New Student Day

5月7日 12:35～13:15 めじらラウンジ  
新入生24名、上級生ボランティア6名、教員6名

(国際学部長 白井 由美子)



Field Study in South Africa

## 学部報告 (文学部)

### 2024年度

#### 【総合文化学科 New Student Day】

4月11日(木) 11:00～14:00 @宝塚ホテル

参加者：1年生188名、教員25名

#### 【総合文化学科講演会】

「虐待関係に陥った女性たち—南アフリカの視点」

講師：Dr. Ilza Slabbert

5月10日(金) 11:30～13:00 @D-208

参加者：120名

#### 【文学部・国際学部講演会】

「～あなたがあなたらしく輝くために

『ときめき』で選んでいく人生とは～」

講師：近藤 麻理恵 氏

12月8日(日) 13:00～14:00 @LA I-21

参加者：126名

#### 【学部別集会】

・7月19日(金) 10:35～11:25 (アッセンブリアワー)  
@L-3

「『なかなか』になかなか苦しむ日本語学習者

—学習者による副詞の使用をめぐる—」

講師：朴 秀娟 准教授

参加者：22名

・12月6日(金) 10:35～11:25 (アッセンブリアワー)  
@ソールチャペル

「茶室が語る—小間を例に」

講師：巖 敏 客員研究員

参加者：30名

#### 【専門部会】

・7月11日(木) 16:40～18:10 @L-24

「代わりに書くのは何者か？

—口述筆記からみる日本近代文学の

ジェンダー・ポリティクス」

講師：田村 美由紀 専任講師

参加者：15名

・11月19日(火) 16:40～18:10 @L-3

「詩人が旅するとき：20世紀初頭のフランス詩が

拓く新たな世界認識」

講師：佐藤 園子 専任講師

参加者：8名

## 【卒業論文関係】

「卒業論文中間報告会」

9月27日(金) 9:00~10月7日(月) 17:00

@対面(各教室)、Moodle 併用

参加者: 4年生183名、3年生156名

「卒業論文発表会」(ポスター発表会)

2025年1月31日(金) 午前の部: 10:30~11:30/

午後の部: 13:00~14:00

@めじラウンジ、EB-002、EB-004、EB-101、

EB-103、一部 Moodle 併用

参加者: 4年生183名、3年生156名

## 【高大連携による活動】

「県立西宮北高等学校 高大連携授業」

7月11日(木)

担当者: 田村 美由紀 専任講師

「大阪信愛学院高等学校

連携校出題テーマ研究プログラム」

7月12日(金)、8月6日(火)

担当者: 桐生 裕子 准教授、三木 順子 教授、  
藤岡 達磨 専任講師、栗山 圭子 准教授、  
岩間 文雄 教授

「県立宝塚西高等学校 高大連携授業、特別講座」

7月16日(火)、2025年2月27日(木)

担当者: 建石 始 教授

2025年3月10日(月)

担当者: 傅 喆 准教授

「神田女学園高等学校探究活動

『NCL(ニコル) AWARDS』」

2025年3月

担当者: 清水 学 教授

## 【模擬講義】

6月12日(水) 私立土佐女子高等学校

担当者: 中野 敬一 教授

6月19日(水) 県立檀原高等学校

担当者: 田村 美由紀 専任講師

7月11日(木) 県立三田祥雲館高等学校

担当者: 建石 始 教授

10月3日(木) 市立尼崎高等学校

担当者: 藏中 さやか 教授

11月21日(木) 県立姫路南高等学校

担当者: 建石 始 教授

11月21日(木) 県立尼崎稲園高等学校

担当者: 景山 佳代子 教授

12月19日(木) 県立夢野台高校

担当者: 藏中 さやか 教授

2025年3月7日(金) 県立鳴尾高等学校

担当者: 佐藤 園子 専任講師

2025年3月11日(火) 東洋大学附属姫路高校

担当者: 藤岡 達磨 専任講師

等、多数実施いたしました。

## 【その他】

夢ナビ講義

担当者: 藤岡 達磨 専任講師

「私立育英高等学校夏期講習」(連携授業)

7月23日(火)~31日(水)

担当者: 飯 謙 院長、三杉 圭子 教授、  
金田 知子 教授、河島 真 教授、  
建石 始 教授、傅 喆 准教授

## 【学科開設50周年関連】

総合文化学科開設50周年ロゴマーク策定

(文学部長 藏中 さやか)



学科制作のクリアファイルと開設50周年ロゴマーク

## 学部報告（音楽学部）

2024年度

## 神戸女学院大学音楽学部主催

## 音楽学部 新人演奏会

4月17日(水) 住友生命いずみホール

## 音楽研究科 第23回修士課程修了披露演奏会

4月24日(水) 兵庫県立芸術文化センター  
神戸女学院小ホール

## ベガにオーケストラがやってきた！ Vol. 13～神戸女学院大学オーケストラ in 宝塚～〈第31回サマーコンサート〉

6月24日(月)・6月25日(火) 宝塚ベガ・ホール

## 第31回オータムコンサート

10月10日(木) 宝塚ベガ・ホール

## 音楽研究科 2年生による音の響宴 Vol. 18

11月6日(水) 兵庫県立芸術文化センター  
神戸女学院小ホール

## 舞踊専攻 第16回卒業公演

11月28日(木)・11月29日(金)・11月30日(土)

エミリー・ブラウン記念館スタジオA

## ウインドオーケストラふれあいコンサート Vol. 2

11月30日(土) エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

## 定期演奏会 —Händel— MESSIAH

12月10日(火)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

## 2024年度卒業演奏会

2月25日(火)・2月26日(水)・2月27日(木)

エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

## 舞踊専攻 第19回舞踊公演

3月13日(木)・3月14日(金)

兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール

## その他授業関係

## ●オペラ実習

## オペラ実習発表会

2月13日(木) エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

## ●音楽によるアウトリーチ

7月6日(土) 子どものための七夕コンサート

10月19日(土) スペシャル・コンサート

12月14日(土) 子どものためのクリスマスコンサート

## ●音楽キャリアデザイン専攻

## 舞台芸術制作基礎演習 授業発表

12月23日(月) エミリー・ブラウン記念館スタジオA

## ワークショップ&amp;ファミリーコンサート

2月16日(日) 西宮市貝類館

## ●リトミック演習

## リトミックワークショップ

2月22日(土) ジョージ・オルチン記念音楽館  
合奏室

## 産学連携・地域貢献・その他

スミリンケアライフとの産学連携によるコンサート  
(エレガノー西宮)

5月20日(月)・7月8日(月)・8月26日(月)・

10月7日(月)・12月2日(月)・12月23日(月)・

2月24日(月)・3月24日(月)

## うめきたライブ (JR 大阪うめきたエリア)

5月24日(金)・10月25日(金)・2025年3月28日(金)

## 篠山吹奏楽団サマーコンサートへのゲスト出演

6月1日(土) 丹波篠山市立田園交響ホール

## ピアノ・声楽ワンポイントレッスンと

## 室内楽 (ピアノトリオ) 体験

6月8日(土) ヤマハミュージック大阪なんば店  
2F サロン

## 大同生命ロビーコンサート

6月11日(火) 大同生命大阪本社 1階  
エントランスホール

## ひょうごプレミアム芸術デーオープニングセレモニー

7月9日(火) 兵庫県立美術館

## プラスフェスティバルコンサート

2月2日(日) アミティ・ベイコムホール

## CD 録音

神戸女学院大学音楽学部ウインド・オーケストラ  
vol. 3 《クローバーの祈り》

2024年6月録音/2025年5月リリース予定

(音楽学部長 なかにし あかね)



定期演奏会 ヘンデル作曲《メサイア》

## 学部報告（心理学部）

2024年度

### New Student Day 開催

テーマ：新入生歓迎

講師：心理・行動科学科全教員及び教学職員

日程：2024年4月10日

場所：学内（デフォレスト記念館他）

参加者：新入生120名

### 第1回 先輩に聞いてみよう（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：臨床心理学分野の大学院生の生活に関する質疑

講師：人間科学研究科大学院生（臨床心理学分野）、教学職員

日程：2024年5月21日

場所：S-3 教室

参加者：学部生18名

### 第2回 先輩に聞いてみよう（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：公認心理師と精神保健福祉士

講師：本学科4年生及び大学院生（公認心理師及び精神保健福祉士課程生）、教学職員

日程：2024年6月11日

場所：S-3 教室

参加者：学部生17名

### 第3回 先輩に聞いてみよう（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：院試に向けた勉強法

講師：人間科学研究科大学院生（臨床心理学分野）2名、教学職員

日程：2024年7月9日

場所：S-3 教室

参加者：学部生17名

### 第4回 先輩に聞いてみよう（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：ゼミ選び

講師：本学科4年生3名、教学職員

日程：2024年10月15日

場所：S-3 教室

参加者：学部生22名

### 兵庫県児童相談所職員採用説明会（心理系キャリアサポートルーム主催）

内容：こども家庭センターの紹介、児童福祉司・心理判定員の業務概要、採用試験について

講師：兵庫県こども家庭センター職員2名

日程：2024年10月22日

場所：理学館

参加者：学部生30名

### メンタルヘルス・マネジメント<sup>®</sup>検定 オリエンテーション（心理系キャリアサポートルーム主催）

内容：メンタルヘルス・マネジメント<sup>®</sup>検定の内容、スケジュール、勉強会の案内等

講師：教学職員

日程：2024年10月29日

場所：理学館

参加者：学部生46名

### 家庭裁判所調査官説明会（心理系キャリアサポートルーム主催）

内容：家庭裁判所の紹介、調査官の業務概要や職場環境について

講師：神戸家庭裁判所尼崎支部調査官

日程：2024年11月5日

場所：理学館

参加者：学部生35名

### 精神保健福祉士養成課程予備登録ガイダンス説明会

内容：精神保健福祉実習の予備登録と履修要件について

講師：本学科教員及び教学職員

日程：2024年11月6日

場所：理学館 S-7 教室

### 第5回 先輩に聞いてみよう（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：心理職の現場

講師：教学職員

日程：2024年11月12日

場所：理学館 S-3 教室

参加者：学部生16名

**宝塚市教育センター心理サポーター説明会****(心理系キャリアサポートルーム主催)**

内 容：心理サポーターの役割、働き方、心理支援との違いについて

講 師：宝塚市教育センター指導主事

日 程：2024年11月19日

場 所：理学館

参加者：学部生30名

**メンタルヘルス・マネジメント<sup>®</sup>検定 勉強会****(心理系キャリアサポートルーム主催)**

テーマ：公式テキストを用いた勉強会並びに小テスト

講 師：教学職員

日 程：第1回 2024年11月26日

第2回 2024年12月10日

第3回 2025年1月21日

場 所：理学館S-3教室

参加者：学部生24名

**公認心理師関連科目予備登録説明会**

内 容：心理アセスメント・支援法受講希望者への予備登録説明

講 師：教学職員（臨床心理学分野）

日 程：2024年11月28日

場 所：H-301教室

参加者：本学科2年生約60名

**2025年度演習Ⅰ履修のための説明会**

内 容：ゼミ分属のための全体説明会

講 師：本学科全教員

日 程：2024年11月29日

場 所：LAⅡ-45教室

参加者：本学科2年生約100名

**精神保健福祉士実習報告会**

内 容：精神保健福祉士実習の報告

報告者：2024年度課程生4年生

日 程：2024年12月15日

場 所：EB-201

参加者：学部生

**卒業研究発表会**

内 容：卒業研究の口頭発表及びポスター発表

講 師：本学科全教員

日 程：2025年1月31日

場 所：LAⅠ-21及び理学館

参加者：本学科学生1～4年生

**メンタルヘルス・マネジメント<sup>®</sup>検定 模擬試験****(心理系キャリアサポートルーム主催)**

内 容：模擬試験及び試験当日の案内

講 師：教学職員

日 程：2025年2月4日

場 所：理学館S-3教室

参加者：学部生12名

**メンタルヘルス・マネジメント<sup>®</sup>検定 学内団体特別試験**

内 容：検定試験の実施

監督者：本学学科教員1名、教学職員

日 程：2025年2月18日

場 所：本学

受験者：学部生25名

**公認心理師心理実習報告会**

内 容：2024年度の心理実習（学外施設訪問実習）の報告

報告者：2024年度心理実習履修者4年生

日 程：2025年2月19日

場 所：S-7教室

参加者：次年度心理実習履修予定者3年生約15名

(心理学部長 石谷 真一)



卒業研究発表会口頭発表の様子

## 学部報告（生命環境学部）

### 2024年度

#### 芦屋市保育園食教育

担当教員：高岡 素子 教授

日 程：6月6日、13日、24日

場 所：芦屋市立西蔵こども園、芦屋市立緑保育所、  
芦屋市立精道こども園

参加者：のべ140名

#### 芦屋市緑保育所での自然学習

担当教員：高橋 大輔 教授

日 程：6月11日

場 所：芦屋市立緑保育所・芦屋中央公園

参加者：20名

#### 朝日親と子の自然環境教室

担当教員：高橋 大輔 教授

日 程：7月13日

場 所：神戸女学院大学

参加者：70名

#### 西宮市立甲東小学校校外学習自然観察会

担当教員：野寄 玲児 教授

日 程：7月13日、11月5日、2月3日

場 所：神戸女学院大学

参加者：のべ445名

#### 高校生対象化学を楽しむ会

担当教員：中川 徹夫 教授

日 程：7月20日

場 所：神戸女学院大学

参加者：3組

#### 子どもサイエンス体験

担当教員：高木 俊人 専任講師

日 程：8月7日

場 所：神戸女学院大学

参加者：8名

#### 西宮市いきものふれあいフェスタでの環境学習

担当教員：横田 弘文 教授

日 程：8月23日、24日

場 所：西宮市環境学習サポートセンター

参加者：約50名

#### 亀岡高校自然科学部との共同研究

担当教員：横田 弘文 教授

日 程：11月4日

場 所：神戸女学院大学

参加者：8名

#### 兵庫県高等学校教育研究会生物部会での講演

担当教員：高橋 大輔 教授

日 程：12月9日

場 所：神戸女学院大学

参加者：約50名

#### 生命環境学部0年生のクリスマス会

担当教員：高岡 素子 教授（主担当）、

佐藤 友亮 教授、高橋 大輔 教授、  
横田 弘文 教授、西海 信 准教授

日 程：12月15日

場 所：神戸女学院大学

参加者：20名

#### SSH 特別講義

担当教員：中川 徹夫 教授

日 程：1月31日

場 所：兵庫県立神戸高等学校

参加者：12名

#### SDGs 探究×研究 サイエンスフォーラム

担当教員：高木 俊人 専任講師（主担当）、

上 泰 教授、張野 宏也 教授、  
高岡 素子 教授、佐藤 友亮 教授、  
高橋 大輔 教授、横田 弘文 教授、  
西海 信 准教授

日 程：3月23日

場 所：神戸女学院大学

参加者：7校15組

（生命環境学部長 横田 弘文）



0年生のクリスマス会の参加者

## 2024年度 神戸女学院大学図書館報告

### 1. 統計

#### ・蔵書数（冊）

	2024年度受入*	2024年度末現在
和書	1,699	273,866
洋書	184	173,929
合計	1,883	447,795
AV 資料	1点	4,176点

\*教育資料費による購入図書44冊、寄贈図書131冊を含む

#### ・2024年度貸出状況（冊）

学 生	9,386
教職員	4,489
外来者	747

#### ・2024年度相互利用（件）

	文献複写	図書借用	閲覧	照会
依頼	308	72	5	8
受付	262	22	18	7

### 2. ガイダンス

合計50回開催

#### ・新入生対象

蔵書検索等、基本的な図書館の利用案内

#### ・1年生後期対象

蔵書検索の応用編、図書館の利用案内

#### ・2年生対象

ゼミ決定前に、検索とデータベースの活用法の説明

#### ・3・4年生対象

卒論執筆に向けた資料収集方法の説明

#### ・交換留学生対象

蔵書検索等、基本的な図書館の利用案内、資料収集方法の説明

#### ・音楽研究科対象 データベース RILM 講習会

### 3. 神戸女学院創立150周年記念展示Ⅱ開催

2024年5月21日から7月11日まで、図書館本館にて、学院主催「神戸女学院創立150周年記念展示Ⅱ『神戸女学院のヴォーリズ建築—Beauty Becomes a College—』」を開催いたしました。

本展示では、かつての山本通キャンパスや幻の大蔵谷キャンパスを紹介し、岡田山キャンパスから現在建築中の小林季子記念館に至るまで、岡田山移転90年を迎えた神戸女学院の歩みを、当時の建築理念とともにご紹介しました。また、株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所より岡田山キャンパスの設計図をお借りし、ヴォーリズ建築として知られる神戸女学院の建築美をご覧いただきました。

会期中は、学内外あわせて2,285名もの皆さまにお越しいただき誠にありがとうございました。

神戸女学院創立150周年記念展示は、創立150年を迎える2025年まで、3年連続で開催いたします。次回展示にもどうぞご期待ください。

### 4. 活動報告

本年度は、前期・後期にわたり立石浩一教授による折り紙イベントを実施し、いずれも好評を博しました。図書館新館では月替わりの展示を継続し、音楽学部図書室では「2024年にアニバーサリーを迎える音楽家」、本館では「神戸女学院創立150周年記念展示Ⅱ」に加えて「ENJOY PAINTINGS OF PLANTS IN ROMEO AND JULIET」も開催いたしました。

授業支援の一環としては、新館にて図書館職員2名によるブックトークを実施したほか、大学院生iLibスタッフによる学生の論文・レポート相談も行っております。学生の皆さんに積極的に活用していただければと願っております。

さらに、公益財団法人図書館振興財団のデジタル事業に応募し、助成金を得ることができました。2025年度より、デジタルライブラリー構築に向けた取り組みを本格的に開始する予定です。

(図書館課長)

## 2025年度 大学・大学院入学試験結果概要

## ●大 学

学 部	学 科	入学定員	入学者数
国際学部	英語学科	100	59
	グローバル・スタディーズ学科	50	25
文学部	総合文化学科	200	173
音楽学部	音楽学科	40	53
心理学部	心理学科	96	127
生命環境学部	生命環境学科	80	94
合 計		566	531

## ●大学〔編入学（3年次）〕

学 部	学 科	入学定員	入学者数
文学部	英文学科	—	1
	総合文化学科	—	1
音楽学部	音楽学科	1	1
合 計		1	3

## ●大学〔編入学（2年次）〕

学 部	学 科	入学定員	入学者数
国際学部	英語学科	—	0
	グローバル・スタディーズ学科	—	0
合 計		—	0

## ●大学院（修士課程・博士前期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	13	2
	比較文化学専攻	5	1
人間科学研究科	人間科学専攻	10	8
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	7	6
合 計		35	17

## ●大学院（博士後期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	2	1
	比較文化学専攻	2	0
人間科学研究科	人間科学専攻	2	2
合 計		6	3

## 2024年度 進路状況報告

学 科	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職率	進学者数	実就職率
				就職決定者／ 就職希望者		大学院
英 文	89	77	76	98.7%	0	85.4%
総合文化	168	157	156	99.4%	0	92.9%
音 楽	43	19	19	100%	4	48.7%
心理・行動科	84	75	74	98.7%	3	91.4%
環境・バイオサイエンス	71	60	59	98.3%	7	92.2%
合計	455	388	384	99.0%	14	87.1%

(2025年4月末日現在)

## 2025年度 在籍学生数 (2025年5月1日現在)

### ●大 学

学部・学科 学年	国 際 学 部			文 学 部			音楽学部	心理学部	生命環境学部	人 間 科 学 部			合 計
	英語学科	グローバル・スタディーズ学科	小 計	英文学科	総合文化学科	小 計	音楽学科	心理学科	生命環境学科	心理・行動科学科	環境・バイオサイエンス学科	小 計	
1年	25000	59	25	84		173	173	53	127	94		0	531
2年	24000	66	36	102		184	184	56	119	0		61	522
3年	23000	0	0	0	55	161	216	53	0	0	101	49	419
4年	22000	0	0	0	86	155	241	34	0	0	107	42	424
合計	21000	0	0	0	13	12	25	2	0	0	5	5	37
	20000	0	0	0	3	3	6	0	0	0	3	1	10
	19000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	125	61	186	157	688	845	198	246	94	216	158	374	1,943

### ●大学院 修士課程・博士前期課程

研究科・専攻 学年	文 学 研 究 科			人間科学研究科	音楽研究科	合 計	
	英文学	比較文化学	小 計	人間科学	音楽芸術表現		
1年	2500	2	1	3	8	6	17
2年	2400	2	2	4	10	3	17
合計	2300	0	0	0	0	2	2
	2200	2	2	4	0	0	4
	2100	0	0	0	0	0	0
	2000	0	0	0	0	0	0
合 計	6	5	11	18	11	40	

### ●大学院 博士後期課程

研究科・専攻 学年	文 学 研 究 科			人間科学研究科	合 計	
	英文学	比較文化学	小 計	人間科学		
1年	2500	1	0	1	2	3
2年	2400	0	0	0	1	1
3年	2300	0	0	0	0	0
合計	2200	0	1	1	0	1
	2100	0	1	1	0	1
	2000	0	0	0	0	0
合 計	1	2	3	3	6	

### ●科目等履修生

学 部	4
大学院	0

### ●聴講生

学 部	3
大学院	6

## 2024年度 留学・海外研修、 2025年度 前期受入れ留学生報告

### ○2024年度留学・海外研修

留学/研修名	行先(国)	人数
派遣留学	ロックフォード大学(アメリカ)	2
	カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校(アメリカ)	1
	ボーリンググリーン大学(アメリカ)	1
	アサンブション大学(フィリピン)	2
	ミリアム大学(フィリピン)	2
	徳成女子大学(韓国)	2
	淑明女子大学(韓国)	1
認定留学	モーツァルトウム音楽大学 (オーストリア)	3
中期海外研修	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)	1
語学研修	ヨーク大学(カナダ)	5
	西オーストラリア大学 (オーストラリア)	15
	フランシュ・コンテ大学(フランス)	5
	昭和ボストン・インスティテュート (アメリカ)	1
	梨花女子大学(韓国)	9
	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)	7
	グリフィス大学(オーストラリア)	9
	オックスフォード大学(イギリス)	2

### ○2025年度前期受入れ留学生

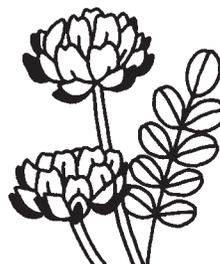
大学名(国)	人数	備考
ボーリンググリーン大学 (アメリカ)	1	2024年度後期から継続
文藻外語大学(台湾)	2	2024年度後期から継続
ロックフォード大学 (アメリカ)	1	
日越大学(ベトナム)	2	
徳成女子大学(韓国)	1	
淑明女子大学(韓国)	1	
セントジョセフ大学(インド)	2	
アサンブション大学 (フィリピン)	1	
バン格拉デシュ独立大学 (バン格拉デシュ)	1	
広東外語外貿大学(中国)	2	大学院

(国際交流センター)

## 2024年度 夏期インターンシップ実施報告

No.	派遣先	日程
1	一般社団法人関西環境管理技術センター (1名)	9月9日 ～9月13日
2	株式会社河合楽器製作所(1名)	8月27日 ～9月7日
3	株式会社河合楽器製作所(1名)	9月3日 ～9月15日
4	野村證券株式会社(3日間コース) (2名)	8月21日 ～8月23日
5	野村證券株式会社(5日間コース) (2名)	8月19日 ～8月23日
6	兵庫県庁(1名)	8月26日 ～8月30日
7	高知県庁(1名)	8月26日 ～8月30日
8	大阪障害者職業センター(1名)	8月8日 ～8月9日

(キャリアセンター)



## 2024年度 クローバー賞表彰式

日程：2024年10月25日(金)

※大学祭オープニングセレモニーに引き続き

場所：中庭

大学クローバー賞について：

神戸女学院大学に在籍する学生の課外活動を奨励することを目的とし、顕著な活動や成績を取めた本学自治会登録団体、又はその団体に所属する個人に対し、その栄誉を称えて贈られる賞

選考について：

2024年9月17日(火)開催の連絡協議会にて、「課外活動報告書」に基づき、連絡協議会委員と大学自治会委員の投票により決定

受賞団体：以下5団体・個人1名(順不同)

- ・チアリーディング部 VENUS
- ・観世流能楽部
- ・Dance Lovers
- ・学生 YMCA
- ・書道部
- ・(個人) スカッシュラケット部

(学生生活支援センター)

## 2024年度 めぐみ会賞表彰式

めぐみ会では大学生及び中高部の生徒の自主的な活動を支援するため、神戸女学院の立学の精神にふさわしい課外活動を行っている団体を対象として「めぐみ会賞」を設け、毎年受賞団体に表彰状と副賞を授与しています。

大学表彰式：2024年10月25日(金) 岡田山祭

- ・受賞団体「ジェンダーインスティテュート学生サポーター」(= Myrrh ミルラ)
- 「聖歌隊ハンドベルクワイア」

中高部表彰式：2025年2月10日(月)

- ・受賞団体「雫の会」「J家庭科研究部」

各団体とも積極的なボランティア活動が評価されました。今年度もクラブ、同好会などからのご応募をお待ちしています。

(公益社団法人神戸女学院めぐみ会

会長 米津 博子)



## 2024年度 研究所活動報告

## ◇講演会

アートってなに？—博物館と美術館のあいだ—

堺市博物館館長、元国立民族学博物館館長

須藤 健一 氏

(2024年10月18日開催)

## ◇助成・補助

## ◆出版助成 4件

- 『女子プロレスの誕生—冷戦期日本の大衆文化とインターセクショナリティ』

グローバル・スタディーズ学科 瀬戸 智子 准教授

- 『アイヌ語を話してみよう！

先住民アイヌを学ぶⅢ』

総合文化学科 大澤 香 准教授

- 『Danny Boy～イギリス愛唱歌集Ⅱ』(CD)

音楽学科 なかにし あかね 教授

- 『天使のセレナーデ』(CD)

音楽学科 辻井 淳 准教授

## ◆体育・芸術活動助成 2件

- 佐々由佳里 室内楽シリーズ Vol.11

ピアノ×弦楽器～光と影の織りなす世界～

音楽学科 佐々 由佳里 教授

- カール・ライネッケ生誕200年記念演奏会

音楽学科 岡田 将 准教授

## ◆研究助成 8件

- Examining the benefits and limitations of using AI for developing L2 speaking ability.

英語学科 Nathaniel CARNEY 教授

- 日本における先達バングラデシュ研究者の研究スタイルに関する研究とアーカイブズ化

グローバル・スタディーズ学科 南出 和余 准教授

- The Sociolinguistics of Humor in Folklore and Mythology

グローバル・スタディーズ学科 Goran VAAGE 准教授

- 精神障害当事者・家族が直面する課題とニーズに関する西アフリカ3カ国(ナイジェリア、シエラレオネ、リベリア)の比較研究

総合文化学科 金田 知子 教授

- 「話題」に着目した類義語・反義語研究

総合文化学科 建石 始 教授

- A detailed study on breathing techniques for musicians; exploring the musical and technical advantages an efficient management of air has on flute playing.

音楽学科 Xavier LUCK 教授

- 教育現場における吹奏楽分野のコラール教材

音楽学科 八木澤 教司 准教授

- 発酵コーヒーの機能性に基づいた疾患予防の可能性についての検討

環境・バイオサイエンス学科 西海 信 准教授

## ◆地域貢献・活性化のための補助 2件

- 地域における保育園との連携による食教育・理科教育の実践

環境・バイオサイエンス学科 高岡 素子 教授

- 神戸市民を対象とした救急安心センター事業(#7119)利用経験に関する調査

心理学科 木村 昌紀 教授

## ◆専門部会研究発表会補助 7件

- (前期) 共通英語教育研究センター  
Extending interactive speaking practice outside the classroom II: Expectations, encouragement, feedback, and evaluation

Kurtis McDONALD 教授

2. (前期) グローバル・スタディーズ学科  
ルワンダのジェノサイドからコンゴのホロコーストへー大量難民が発生するのはなぜか？  
米川 正子 教授
3. (前期) 総合文化学科  
代わりに書くのは何者か？—口述筆記からみる日本近現代文学のジェンダー・ポリティクス  
田村 美由紀 専任講師
4. (後期) 音楽学科  
崎谷明弘ピアノリサイタル  
ベートーヴェン「三大ソナタ」  
～ロームミュージックファンデーション寄贈ピアノの音色とともに～  
崎谷 明弘 専任講師
5. (後期) 総合文化学科  
詩人が旅するとき：20世紀初頭のフランス詩が拓く新たな世界認識  
佐藤 園子 専任講師
6. (後期) 英語学科  
Enhancing Vocabulary Learning  
Program-wide  
Nathaniel CARNEY 教授
7. (後期) グローバル・スタディーズ学科  
政変を起こしたバングラディシユのZ世代—壁画表象を通して  
南出 和余 准教授
3. International Institute for Ethnology and Conversation Analysis 2024  
総合文化学科 戸江 哲理 准教授
4. The 4th Biennial John Dos Passos Society Conference  
総合文化学科 三杉 圭子 教授
5. Silvia Baron Supervielle: le pays de l'écriture  
総合文化学科 佐藤 園子 専任講師
6. Association for Asian Studies 2025 Annual Conference  
グローバル・スタディーズ学科 瀬戸 智子 准教授
7. International Studies Association  
グローバル・スタディーズ学科 米川 正子 教授
8. 21st Annual CamTESOL Conference  
英語学科 James WONG 教授

## ◇発行物

『論集』第71巻第1号（通巻第192号）2024年6月発行

『論集』第71巻第2号（通巻第193号）2024年12月発行

※2024年度時点の所属等にて記載

(研究所)

## ◆国際学会出張補助 8件

1. CLDC 11 (The 11th Conference on Language, Discourse, and Cognition)  
英語学科 立石 浩一 教授
2. Third Conference on the Endangered Languages of East Asia  
グローバル・スタディーズ学科 Goran VAAGE 准教授

## 2024年度 ジェンダーインスティテュート活動報告

### 1. 機関名称変更

2024年度より女性学インスティテュートからジェンダーインスティテュートへ機関名称変更

### 2. 講演会他

- (1) ジェンダーインスティテュート主催特別講演会  
「おそろおそろ育休を取った私が考える、おそろおそろじゃなく休むために大事なこと」

環境・バイオサイエンス学科  
西 靖 特別客員教授  
(毎日放送アナウンサー)  
(2024年6月7日開催)

- (2) 定例研究会  
「男性育児」

甲南大学文学部 中里 英樹 教授  
茨城大学教育学部 佐藤 裕紀子 教授  
(2024年6月8日開催)

- (3) ドキュメンタリー映会上映・解説トーク  
『燃えあがる女性記者たち』

青山学院大学地球社会共生学部  
菅野 美佐子 助教

(2024年11月24日開催・西宮市大学交流センター)

- (4) 合同研究会  
共催：奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学  
研究センター

「リプロダクティブ・ヘルスを考える  
—女性の健康を守り、そして揺るがすもの」  
奈良女子大学

アジア・ジェンダー文化学研究センター  
曾 璟蕙 協力研究員

「金原ひとみとフェミニズム  
—その距離の危うさ」

総合文化学科 田村 美由紀 専任講師  
(2025年3月7日・  
オンライン及び学内対面開催)

### 3. 助成・補助

- (1) 研究助成：1件  
「ドキュメンタリー映像によるジェンダー教育の可能性（3）—『燃えあがる女性記者たち』を事例に」

グローバル・スタディーズ学科 南出 和余 准教授

- (2) 国内学会等出張補助：1件  
Asian Studies Conference Japan 2024  
グローバル・スタディーズ学科 瀬戸 智子 准教授

### 4. 学生懸賞論文

(第26回ジェンダーインスティテュート賞)

- ・応募総数：1編
- ・最優秀賞：1編
- ・優秀賞：該当なし

〈最優秀賞〉

南原 怜奈 氏 (2024年3月総合文化学科卒業)  
「マーガレット・ミッチェルの『風と共に去りぬ』  
が描く「古き良き南部」の名誉と調和  
—スカーレットが愛したプランテーション社会—」

### 5. 授業

Cu130ab 「女性学（Ⅰ）」a、b  
Cu131ab 「女性学（Ⅱ）」a、b  
Cu236ab 「ジェンダー学」a、b

### 6. ジェンダーインスティテュート学生サポーター 「ミルラ」の活動

- (1) サポーター学生数：15名（2025年2月時点）  
(2) 新入生オリエンテーションにて前年度芦屋市  
と共同で作成した「デートDV防止啓発パン  
フレット」の説明と配布  
(3) 学内生理用品設置プロジェクト  
・学内に生理用品配置とアンケート実施  
・西宮市をはじめ学内外のイベントで本プロ  
ジェクトについて発表  
(4) 岡田山祭出店（共同出店：特定非営利活動法人  
HIKIDASHI（性教育カフェ））  
(5) 第23回めぐみ会賞（2024年度）受賞  
(6) ミルラ公式インスタグラム開設

他、学内外で広く活動

7. ジェンダーインスティテュートホームページの  
リニューアル

2024年5月より研究所・女性学インスティテュート  
ホームページから独立した新たなホームページ  
を公開

8. 国際女性デー

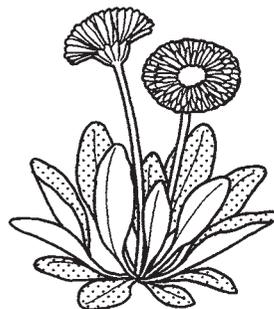
2025年3月8日国際女性デーに大学及びジェン  
ダーインスティテュートホームページ・SNS から  
メッセージ発信

9. 発行物

『ジェンダーインスティテュートジャーナル』  
第39号（2025年3月発行）

※2024年度時点の所属等にて記載

（ジェンダーインスティテュート）



## 中高部報告

第32回薫英杯  
女子中学生英語スピーチコンテスト

中学部 3年生 (現高等学部 1年生)

私は、2024年11月3日に大阪薫英女学院で開催された第32回薫英杯女子中学生英語スピーチコンテストの Advanced の部で最優秀賞をいただきました。Advanced の部では、出場者各々が考えた内容を暗記し、スピーチを行います。自分の伝えたいことを普段使わない英語を用いて表現することはとても難しかったです。しかし、英語で文章を書く力が鍛えられる良い機会になりました。スピーチの内容が、聴衆に伝わるように話すだけでなく、発音やジェスチャーの自然さも意識して練習しました。

英語スピーチコンテストに出場しようと思ったきっかけは、所属している ESS 部での経験を活かせると思ったからです。セリフに感情を乗せて全身で表現する部活での経験は、スピーチの文章を読む時にとても役に立ちました。

予選はビデオ審査で、目の前のカメラに向かって話しましたが、本番の会場ではたくさんの人の方を向きながら発表するのでとても緊張しました。だからこそ、自分の出番が終わってたくさんの人からの拍手に包まれた時は達成感でいっぱいでした。

コンテストでは、いろいろな学校から集まってきた同年代の人のスピーチを聞き、たくさんの考えに触れられてとても勉強になりました。また、他の出場者の方の話し方やジェスチャーのつけ方を見ることができ、新しい発見も多かったです。

最後に、ご指導くださった先生方を始め、関わってくださった全ての方々に感謝いたします。

第42回朝日・関西アマ女流囲碁名人戦  
桜グループ (無差別) 優勝

高等学部 1年生 (現2年生)

私のこの2年間は囲碁に勇往邁進の毎日でした。

昨年は高校生対象の全国選手権、近畿総文、全国選抜大会に加え、朝日・関西アマ女流囲碁名人戦に参加しました。この大会は実質2年に亘る戦いで、まず無差別戦で上位3名に入り次期名人戦リーグ入りの資格を得た上で、翌年女流アマ名人位をかけて8人で争います。年齢制限がない数少ない大会の為、全国優勝等の経験を持つ猛者が多数参加するので大会前は食事も喉を通らない程緊張していました。というのも私は関西棋院がある北浜まで週6日通い、勉強、睡眠そっちのけで生活の殆どを囲碁に費やしていたからです。何としても落とせない、優勝しなければというプレッシャーがありました。囲碁は性格が出るゲームです。私の棋風は好戦的で、周りを見ずに目標に向かって猪突猛進。すぐに攻め込み過ぎて後悔するので、一度落ち着いて全体を見渡し計画を立て直すことが今の課題です。敗戦は孤独で辛いものですが、毎局見える景色が全く違う囲碁にはそれを上回る魅力があります。一手一手が発見の連続で飽きることがありません。恩師や仲間にも恵まれ、囲碁は私の青春であり、私が私らしくいられる唯一無二の大切な「居場所」です。この度無差別戦で優勝し、来期名人戦リーグ入りを果たすことができました。いつも励まし愚痴を聞き、見守ってくれている方々への感謝を忘れず楽しみながら、更なる高みを目指して日々精進していきたいと思えます。

## 全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展賞

2024年6月に開催された全日本高校・大学生書道展において、書道部の当時S3生徒3名が仮名作品で書道展賞（第2席）を受賞いたしました。出品総数は8,784点で受賞した書道展賞は313点でした。書道を専門とする大学や書道コースのある高校からの出品も数多くある中、よく健闘しました。手本を渡したのが2月で、そこから週に2回の部活、また礼拝前やクラブの活動日ではない日にも書道室に来て、黙々と練習をしていました。間に体育祭など大きな行事も入りますし、受験勉強もある中で書く時間を捻出するのが大変だったと思います。書道は練習量が技術に比例しますので、普段から部員にはたくさん書くように伝えていますが、書道部以外の活動をしている生徒も多く、せっかく実力がありながら練習不足により、本人と顧問両者が納得いく作品を出すのが難しいのが現実です。そのような中でこの3名は入部して以来、隙間の時間を見つけて本当に多くの枚数を書きました。J1の書写の授業で初めて仮名に触れ、そこからステップアップし大字仮名作品を作り上げられるまでの力をつけてくれたことに、指導者として感慨深いものがありました。技術が向上すると共に難しい要求もしましたが、それに応えようと努力を重ねる3名の姿から、後輩たちも地道に努力して積みあげる大切さを感じ取ってくれたのではないかと思います。

（中高部書道部顧問）

## 第70回青少年読書感想文コンクール 全国学校図書館協議会長賞

高等学部 2年生（現3年生）

私は、昨年度の夏休みに書いた読書感想文が全国コンクールに入賞し、東京で行われた表彰式に参加させていただきました。

私がこの度読んだのは、ヴィクトール＝フランクルの「夜と霧 新版」です。第二次世界大戦中に強制収容所に送られ、生還を果たした精神科医である筆者フランクル自身による経験と、その考察が記されています。私はこの本を読むなかで、人間の「強さ」とは何かについて考えてきました。

表彰式には秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席され、受賞者に向けてお言葉をくださいました。祝賀パーティでは「夜と霧 新版」の出版社である、みすず書房の社長にお声掛けいただき、お祝いをいただくとともに、出版社や本について直接お話を伺うこともできました。また同じ場で、九州に住む同世代の友人ができ、今も連絡を取り合っています。一冊の本を通じて、さまざまな人と関わることができた点でも、代え難い経験となりました。

私にとってなにかを「表現する」という行為は「自分に内在するものについて知る」ことでもあります。思考を整理する、たとえば言葉にしてみることで、断片的であった思考につながりが見えてくることもあり、そんな時間が私にとって刺激的で、堪らなく楽しいものです。フランクルの書き残した言葉たちは、自分の強さについての気づきを与えてくれました。今後も本や言葉を通じ、新たな感情に触れるだけでなく、まだ見ぬ自分の側面にも出会っていきたいと考えています。

令和6年度(第27回)お弁当・おむすびコンテスト  
最優秀賞(兵庫県知事賞)

中学部 2年生

令和6年度(第27回)お弁当・おむすびコンテストに参加し、最優秀賞(兵庫県知事賞)を受賞しました。今回私が作った「宝塚花のみち弁当」は、ミュージカルが大好きな祖母と、私の住む宝塚市の風景から着想を得たものです。宝塚歌劇団の5つの組に見立てた手まりずしと、宝塚駅から宝塚歌劇場まで四季折々の豊かな花々で彩っている「花のみち」をイメージしたおかずによって、観劇の後も宝塚の魅力に浸れるようにイメージしながら制作しました。また、タンパク質やカルシウム、ビタミンBなど、高齢者に不足しがちな栄養素をたくさん入れることも配慮しました。

今回のお弁当を作るにあたって最も心掛けたことは、兵庫県の豊かな風土から生まれる多様な食材を活用することです。一次審査があった夏休みには、県内各地の道の駅や直売所を巡って、丹波の黒豆や三田ポーク、明石のタコ、兵庫県産コシヒカリ、地元野菜をはじめ多くの食材を購入しました。夏休みの貴重な思い出になり、また各地域の特産物や観光名所、歴史などの知識も深めることができました。最終審査では、お弁当や兵庫県に対する思いを審査員の方々へ直接伝えることができ、この賞に繋がったと感じています。斎藤元彦兵庫県知事から賞状をいただいた時の達成感は今でも忘れられません。このような素晴らしい機会を与えていただき、またご指導くださった先生方や、支えてくれた家族、友人に感謝申し上げます。

第24回砂金掘り大会  
男女一般の部第1位、総合の部優勝

高等学部 1年生(現2年生)

砂金掘り大会とはどんな大会かというところ、この大会は砂金を同じ数だけ砂に混ぜたものからパンニング皿と言われる道具と大きな水槽を使ってその混ぜられた砂金を取り出していき、そのタイムと正確性を競うという大会です。

有志地学研究会では個人で出られる砂金掘り大会と翌日に行われる学校対抗の砂金甲子園に2023年から参加しており、2023年のときは中学生以下のジュニア部門で友人が優勝し、砂金甲子園では優勝と同点で準優勝という結果でした。2024年こそは総合優勝を目指そうと研究会の有志で夏休み前から練習に励みました。夏休みに入ってから毎日、地学実験室に集まって、服がびしゃびしゃに濡れることも少なくないほどに熱中しながらの練習を、研究会の仲間と教え合いながら繰り返しました。自分は当日に運が良かったのか、まさかの予選通過、決勝の条件ではほとんど練習できていなかったのですが、研究会のみんなの声かけのおかげで男女一般の部門で1位になり、最後のジュニアの部優勝者との直接対決で、優勝することができました。

また、翌日行われた学校対抗の砂金甲子園ではまたしても惜しくも優勝には届かなかったものの準優勝をすることができました。2025年こそは優勝できるようにさらに力を入れて取り組んでいきたいです。

## 未来クリエイターズアワード 2024

高等学部 3年生

未来クリエイターズアワードは、大阪人間科学大学が主催するビジネスプランコンテストです。ビジネスプランコンテストにおいて最も重要なものは何でしょうか。私がこの経験を通じて最も重要だと実感したのは、「想い」でした。

自身で作成したり、参加者の発表を聞く中で、プレゼンテーションとは、共感を呼び起こし、「この人を応援したい」と思ってもらうための手段なのだと実感しました。ビジネスプランを実際に事業として展開するには、資金やスキル等、誰かの助けが不可欠です。そして人は、利害関係だけでなく感情によって動かされる生き物です。誰かの協力を得るためには、その人に応援したいと思ってもらうことが必要であり、そこに「想い」が込められているかどうか重要になるのです。

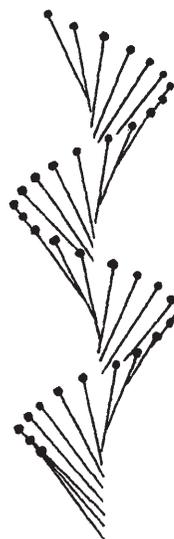
またコンテスト当日何より驚いたのは、会場にいた大人の方々の多さです。数多くの企業の方々が審査員として参加されており、一高校生に過ぎない、何の見返りも与えられない初対面の私のために、こんなにも多くの大人が時間を割いてくださっていることが信じられませんでした。しかし、審査員の方々とお話をすることで、皆さんは、私たち高校生の未来を信じ、無条件で「想い」を込め応援して下さっていたのだと、知りました。ならば、私はこの貴重な経験を糧に、このご恩に応えられるよう未来を創る一人のクリエイターとして邁進してまいります。(ここで宣言することで、怠慢を防ぎたいです)

## 2025年度 中学部入学試験結果報告

日程：2025年1月18日(土)・20日(月)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
135	249	247	154	142

(中高部事務室)



## 2025年度 春の遠足

日 程：4月18日(金)

## J1

場 所：神戸市立外国人墓地、再度公園  
 概 要：阪急花隈駅～神戸教会～諏訪山公園～神戸市立外国人墓地～再度公園～新神戸駅  
 参加者：140人  
 引率教員：7人

## J2

場 所：摩耶山  
 概 要：阪急六甲駅～護国神社～康晴台～袖谷峠～王子公園  
 参加者：142人  
 引率教員：8人

## J3

場 所：菊水山、鍋蓋山、再度公園  
 概 要：神戸電鉄鈴蘭台駅～菊水山～鍋蓋山～再度公園～諏訪山公園  
 参加者：141人  
 引率教員：7人

## S1

場 所：六甲アスレチックパーク Greenia  
 概 要：六甲ケーブル下駅～六甲山上駅～六甲アスレチックパーク Greenia～六甲ケーブル山上駅～六甲ケーブル下駅  
 参加者：137人  
 引率教員：7人

## S2

場 所：神戸市立森林植物園  
 概 要：神戸市営地下鉄谷上駅西側の河原～山田道～神戸市立森林植物園～神戸電鉄北鈴蘭台駅  
 参加者：140人  
 引率教員：6人

## S3

場 所：神戸布引ハーブ園  
 概 要：布引ハーブ園ロープウェイ山麓駅～山頂駅～森のホール～芝生公園～新神戸駅  
 参 加：123人  
 引率教員：6人

## 2025年度 「春の子ども会」報告

日 時：2025年4月29日(火) 9:30～16:00

場 所：神戸女学院中高部葆光館・タルカット館・グラウンド

参加者：神戸真生塾の小学生13名  
 同朋学園の小学生10名  
 サン野菊尼崎の小学生10名  
 ファミリエ光の小学生10名  
 伊丹深愛館の小学生13名  
 神戸女学院高等学部生45名

内 容：

9:30 子どもたちが神戸女学院に到着  
 9:30～10:00 開会式・セレモニー  
 10:00～12:00 室内で工作などして遊ぶ  
 12:00～12:40 昼食  
 \* 食堂のお弁当  
 12:40～13:40 自由時間  
 13:40～15:00 グラウンドで遊ぶ  
 15:00～ 閉会式  
 15:30～ 解散

(2025年度高等学部役員会顧問)

(中高部教諭)

## 2025年度 J1 デイキャンプ報告

### 2025年度キャンプ長

2025年4月1日、2日の2日間、J1 デイキャンプを開催しました。今年のキャンプテーマはJ1さんの学年カラーはピンク、桃色とかけた「前人未桃」でした。まだ誰も踏み入れたことのない世界でも輝いてほしいという想いが込められています。1日目はJ自治会によるオリエンテーションに続いて開会式を行い、昼食をとり、オリエンテーリングを行いました。2日目は Dansen、ジグソーパズル作り、レクリエーションを行った後昼食をとり、メディテーションキャンドルサービスを行い、ジグソーパズルに神戸女学院生活の抱負を書きました。最初は緊張していたJ1さんの笑顔がどんどん増えて、プログラムを楽しんでいる様子を間近で見られて嬉しい限りでした。J1 デイキャンプはJ1さんに楽しんでもらえるよう企画するものですが、私たち運営側も充実した時間を過ごすことができました。

私がJ1の時のJ1 デイキャンプは新型コロナウイルスの影響で中止になりました。代々行われてきたJ1が主体の行事をJ1目線で経験していない身で運営することは不安でしたが、多くの人に助けられて無事に行事を終えることができました。この場をお借りしてJ1 デイキャンプに関わってくださった全ての方に感謝申し上げます。このJ1 デイキャンプがJ1のみなさんにとって良い神戸女学院生活の幕開けとなっていれば嬉しいです。これからもJ1 デイキャンプが続いていきますように。

## 2025年度 体育祭報告

雨のために1日延期となり、今年の体育祭は6月4日(水)に実施されました。むかで競走と DEKA ☆パンレースが復活し、コロナ禍前の体育祭にはほぼ戻った形です。プログラムの最後を飾る騎馬戦の大將戦では、対戦する両組の生徒が組テントから出て、自分たちの大將騎を大歓声で応援しました。各競技で熱戦が繰り広げられた結果、覇組が優勝の栄冠を手に入れました。学年対抗パフォーマンスは、圧巻の演技を披露したS3が優勝しました。

J1の体育祭が中止だった緑(学年カラー)の学年にとって、体育祭完全復活への思いはひとしおだったようです。全体の運営をする体企、ルールを整え審判を担う体育部、全校生を束ねる各組の幹部をはじめ、多くの生徒が体育祭のたった1日のために、莫大な時間や労力をかけて準備にあたりました。毎年体育祭は教育実習の期間にあり、今年実習に来ていた卒業生の多くは制限下で高校生活を送った世代でした。思い出すのは、体育祭1日のために全力を注ぐ上級生の姿が、制限下であろうと途切れなかったことです。今年の体育祭でも、上級生の学パを食い入るように見つめる下級生の姿があり、先輩と話せて楽しかったという声が聞こえました。今年の体育祭もそうした積み重ねの一部になれたことを嬉しく思い、生徒主体で作り上げる体育祭が継承されていくことを感じます。

体企顧問を務める間、多くの皆様に助けていただきました。ありがとうございました。

(体育祭企画実行委員会顧問)

## 2024年度 中高部教職員研修会 報告

2024年8月23日(金)に2024年度教職員研修会が行われました。8時50分にコム・ホールに参加者全員が集い、開会礼拝を守り、森谷部長から「私たち教職員は何を大切にどこを目指していくのかを共有する日にしたい」との開会挨拶をいただきました。

[午前プログラム]

### 1. 全体会①

教頭、生徒課長より、「現在、中学部では自治会のクラブ規約により、クラブへの加入を義務付けているが、文化省からのガイドラインでは、中学校でのクラブの強制加入は禁止されている。そのため、クラブ加入の必修継続は難しいのではないか」との発題を受け、少人数のグループに分かれて話し合いを行いました。

### 2. 分団討議①

他校の例も参考にしながら、クラブ加入必修化の継続について、また、クラブ加入必修化をなくすことで生徒にどのような影響があるか、規約の変更はどの学年を対象にいつ行うのが適切か、現在行われている新入生(J1)対象のクラブ巡りは継続して行うか、クラブの出席率は出すのか等について建設的な意見を交換しました。

再度、コム・ホールに戻り、班ごとに出た意見を共有しました。クラブ加入必修化の継続をしない、との意見が多く出ましたが、どの班でも、中学生におけるクラブ活動の意義は大きいという意見があり、クラブ加入を必修化はしないが、強く推奨するという考えが共通していました。

### 3. 全体会②

引き続き、森谷部長より、「2026年度からの中高部5か年計画」というテーマで発題があり、2021年度から2025年度までの5年間で行った「1クラスの少人数化」「IT環境の対応」「クラブ活動のコーチ制」「就学支援(空調システム・ロッカー)」「新カリキュラム移行」の説明がありました。今後5年間の新たな計画について、自由に意見を出し合ってほしいと説明を受け、分団討議①のグ

ループとは異なるグループに分かれて話し合いを行いました。

### 4. 分団討議②

カリキュラムの改善点、互いの研鑽のための研究授業、必要な施設、行事の見直し、生徒の進路指導、校外への広報強化、建物のバリアフリー、海外への研修旅行の機会増加など多岐にわたり意見交換が行われました。その後、再度、コム・ホールに戻り、班ごとに出た意見を共有し、各々の教職員が日々感じていること、考えていることを共有する有意義な時間をもちました。

[昼食と夏休みの行事報告]

教職員一同で昼食をともし歓談の時をもった後、夏休みの行事報告を行いました。

リーダーシップトレーニングキャンプ、Global Studies Program、夏山登山、リベラルアーツ・プログラム(長島愛生園訪問、白浜訪問)、オーストラリアスタディツアーについて、それぞれの担当教員から報告がありました。また、学校評価委員会より夏休み中に行った学校評価アンケートの結果の報告も行われました。

[午後プログラム]

養護教諭及び保健体育委員会教員による心肺蘇生法の講習が行われました。養護教諭による毛布やスウェットを用いた簡易担架の作り方、心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の使い方、使用する際の注意点などの講義を受けた後、グループごとに心肺蘇生訓練人形及びAEDを用いて心肺蘇生を訓練しました。年度中に実際にキャンパス内で心肺蘇生を行う場面があったため、次にそのような事態に遭遇することに備えて訓練に励みました。

学んだことを常に身に付けておくため、一年に一度心肺蘇生訓練を行う必要性を感じました。

(教職員研修会係)

## 2024年度 芸術鑑賞会

2024年8月28日(水)、西宮市アミティ・ベイコムホールにて中高部芸術鑑賞会『ミュージカル北斎マンガ』が開催されました。秋田を拠点とする劇団わらび座らしく、上演前のなまはげの登場、それに続いて江戸時代らしからぬアップテンポのダンスと歌。ややもすれば渾沌とした世界観の作品ですが、主人公葛飾北斎の粋におさまらない発想と表現力、そしてその背景にある絵に対する制御不能な熱い想いを余すところなく描き切った舞台でした。2025年度大河ドラマの主人公である蔦屋重三郎、昨年上映された『八犬伝』の作者である曲亭馬琴なども巻き込んで、ストーリーはテンポよく展開します。生徒にとってはどこか縁遠い江戸時代の文化であったかもしれませんが、その根底にある時代を超えた自己表現へのエネルギーは、ひとりの人間の生きぬく力として、生徒たちの胸に強く響いたことと思います。自分の「好きな」ことをどこまでも追究して生きる。それは実はたやすいことではなく、誰とも違う自分自身の道をひたすら突き進むことなのだ。そんな単純でしかも力強いメッセージに加え、互いをとことん思いやる夫婦愛と家族愛。また一時は絶交しながらも、最後には、盲目となった馬琴に対して敬意を込めて深々と頭を下げる北斎の姿に胸が熱くなったという感想も多く聞かれ、人生の機微にも思いを馳せた、そんな多様で豊かな鑑賞会となったことと思います。

(中高部教諭)

## 2024年度 S 校内大会

2024年度のS校内大会は、7月8日(月)に実施しました。種目は例年通り、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、卓球、リレーの5種目です。今回は初めての試みとして「大縄跳び」も行いました。神戸女学院ではなかなかやることのない大縄跳び。盛り上がるかどうかと不安な気持ちもありましたが、どのクラスも楽しそうに、そしてレベルが高く、取り入れてみてよかったと感じております。例年通り、下剋上を狙う下級生とそうはさせまいとする上級生との“仁義なき戦い”や、同級生同士の白熱した試合があり盛り上がりを見せました。

直前まで大雨でしたが、当日は快晴。ただしその分、過酷な暑さとなっていたので、来年度以降も熱中症に気を付けながら実施したいと思います。

(S 体育部顧問)

## 2024年度 J 校内大会

2024年度J校内大会が7月9日(火)に行われました。実施種目はドッジボール、卓球、リレーです。各種目フェアプレーの精神のもと熱戦が繰り広げられ勝敗にかかわらず皆が楽しんでいる姿が印象的な校内大会となりました。

### 【結果】

総合優勝	J 2D
2位	J 3C
3位	J 2A、J 3D

(J 校内大会係)

**2024年度 中高部 夏休み中の行事**

## リーダーシップトレーニングキャンプ

日 程：7月22日(月)～24日(水)

場 所：西宮市立山東自然の家

概 要：レクリエーション、カウンセラー・ファイアー、  
野外炊飯等

参加者：46人

引率教員：4人

## グローバルスタディーズ プログラム

日 程：7月22日(月)～26日(金) 日帰り

場 所：校内 トリニティホール

概 要：外国人大学生とのディスカッションを通して  
問題発見能力、解決法を見付ける能力、  
相手に伝える能力を身に付け、世の中の課  
題について考える

参加者：37人

引率教員：7人

## 夏山登山

日 程：8月1日(木)～3日(土)

場 所：白山

概 要：日本3名山の白山登山、山小屋(室堂セン  
ター)に宿泊、高山植物学習、頂上の御前  
峰から火口やご来光を見る

参加者：40人

引率教員：6人

## リベラルアーツプログラム・白熱教室

日 程：7月18日(木)

場 所：校内

概 要：神戸女学院大学教授 奥野紗矢子先生を助  
言者として話し合いとワークショップ

参加者：J生徒2人、S生徒9人

引率教員：2人

## リベラルアーツプログラム・白浜訪問

日 程：7月22日(月)、23日(火)

場 所：白浜バプテストキリスト教会

(白浜レスキューネットワーク)

概 要：学童保育プログラム「コペル君」の子ども  
たちと交流、ディスカッション

参加者：J生徒16人、S生徒4人

引率教員：2人

## リベラルアーツプログラム・長島訪問

日 程：7月24日(水)、25日(木)

場 所：岡山県 国立療養所「長島愛生園」

概 要：園長・山本典良氏の講演、歴史館、  
園内見学、レクリエーション、話し合い

参加者：32人

引率教員：2人

## オーストラリア スタディツアー

日 程：8月2日(金)～8月16日(金)

場 所：西オーストラリア州 パース

概 要：姉妹校 Methodist Ladies' College 訪問、  
ホームステイ

参加者：18人

引率教員：2人

(中高部教諭)

## 2024年度 文化祭

2024年度文化祭は「Vivid」というテーマで行われました。例年通り、各クラスや学年による展示、コムホールや講堂での舞台や発表、クラブや有志の展示、文企画や装飾など、盛りだくさん、見所いっぱい文化祭であったと思います。「Vivid」の言葉通り、鮮やかで生き生きとした生徒たちの活躍が見られた2日間でありました。

文化祭は文化祭企画実行委員会（文企）のメンバーが中心に様々な準備を行っています。J3から参加できる文企は、クラブ活動ではないけれども、先輩後輩と協力して物を作り上げたり、企画を考えたりできる有志の集まりです。本校の文化祭は、先輩から後輩へと引き継がれる経験と膨大な資料と文化祭への熱い思いをベースに、全校生徒の思いと相まって、より魅力的な行事になっているように思います。

例年教員も副顧問・顧問と2年間文化祭に携わるのですが、2024年度は、顧問の急病により副顧問だった私が年度途中から引き継ぎました。突如何も分かっていない副顧問が正顧問に昇格して、生徒にとっては不安なことだらけだったと思いますが、S3幹部を中心に見事に取り仕切ってくれました。

他校では大人がするようなことまで自分たちの手で準備をしていく本校の文化祭は、あらゆる場面を生徒たちの手で作り上げています。文企の最初の仕事は、前年度の反省点を洗い直し、改善策を考えるとところから始まります。有志団体の舞台出演オーディション、パンフレット作成、校外用文化祭での受付方法や受付の動線の確認、各展示団体への備品貸し出しや机椅子移動など、表から見える部分だけでなく、見えない部分までも、それぞれこだわりや情熱を持って活動しています。特に受験を控えたS3の生徒も文企として関わっていますので、誰もが勉強との両立に不安を抱えています。しかし上手に工夫して時間をやり繰りしながら仕事をこなすS3の様子を見て、自然に後輩たちが自分で考え、仕事を探し、動いていくことができるようになっていく様子が見られます。忙しくても丁寧にテキパキと仕事をする文企幹部の様子を見て、文企以外の同級生たちも「この人たちのためにも、良い文化祭に

したい」と思う人が増え、非常に協力的な雰囲気が生まれていきました。2024年度の文化祭では、S3が率先して何事にも協力し、楽しんで盛り上げてくれたように思います。

本校の生徒は、一番好きな行事を体育祭だと答える生徒が多いと言われています。確かに花形の行事で、華やかで、憧れの先輩と同じチームで戦い、勝敗を共有し盛り上がる行事です。その反動か、文化祭は学年やクラスの展示に対して関心が低く、人手が足りず苦勞するクラスがあるとも聞きます。しかし、外部のお客様を迎えて楽しんでもらえる行事は文化祭で、神戸女学院に入学したJ1の生徒たちから、「文化祭が楽しかった」という声も毎年たくさん聞いています。みんなと協力して何かを作り上げる経験は、今だからこそできることです。将来の神戸女学院生の憧れの行事であることも忘れないで欲しいと思います。

文化祭は生きた行事です。全く同じものはできないし、突発的なことも想定外のことも起こり得ます。その中で、最大限楽しんでもらえるように力を尽くすことができる生徒の皆さんの成長を眩しく、また誇らしく感じます。文化祭を開催するにあたり、どれだけの方のお世話になっているか、助けていただいているのかを忘れず、今後もさらに素晴らしい文化祭を作り上げてくれるものと信じています。

多大なご迷惑をおかけした施設課、常にサポートして下さった事務室を始めとする職員の皆様、教職員の皆様に改めて感謝申し上げます。また文企メンバーの皆さんの働きに感謝しています。ありがとうございました。そして文化祭を盛り上げて、楽しんで下さった全ての生徒の皆さんに感謝しています。

(2024年度文化祭企画実行委員会顧問)

## 2024年度 中高部 秋の行事

## J1 遠足

日 程：10月11日(金)

コース：渦の道、大塚国際美術館

概 要：見学

参加者：143人

引率教員：8人

## J2 遠足

日 程：10月11日(金)

コース：信楽陶芸村、宇治平等院

概 要：陶芸体験、見学

参加者：142人

引率教員：7人

## J3 小旅行

日 程：10月9日(水)～11日(金)

コース：福井、金沢、高山

概 要：見学、ゆのくにの森(ものづくり体験)、  
金沢・高山班別研修

参加者：140人

引率教員：8人

## S1 一泊研修

日 程：10月10日(木)、11日(金)

コース：出石、天橋立

概 要：見学、話し合い

参加者：143人

引率教員：6人

## S2 修学旅行

日 程：10月7日(月)～11日(金)

コース：大宰府、高千穂、天草、長崎、

概 要：見学、長崎班別研修、レクリエーション

参加者：138人

引率教員：7人

## S3 遠足

日 程：10月11日(金)

コース：有馬温泉

概 要：自由散策、昼食

参加者：134人

引率教員：6人

## 2024年度 S2 修学旅行

2024年度修学旅行は、新幹線で九州に移動した後、クラス毎にバスに分乗し、まず太宰府天満宮を訪れました。大宰府本殿は124年振りの改修中で、約3年間しか存在しない仮殿——屋根に草木を湛えたとても珍しい「仮の」本殿——にお参りするという大変貴重な機会になりました。その後北里柴三郎記念館に向かい、見学してその偉業に触れるとともに、館長さん(北里博士の曾孫にあたる方)にもお話ししていただくことができました。翌日は雄大な柱状節理が見られて興味深い高千穂峡を回った後、重要無形民俗文化財の夜神楽と国宝の通潤橋を見学しました。3日目は天草キリシタン館で日本のキリスト教の歴史を学んだ後、クルーズ船に乗ってイルカウォッチングをし、がまだすドームで雲仙火山の歴史や火砕流について学び、移動して長崎原爆資料館で原爆の恐ろしさを学習するという大変内容の濃い一日を過ごしました。4日目はそれぞれ班に分かれて思い思いに自主研修をした後、ホテルに戻ってレクリエーションをしました。レクの中では生徒たちがJに入学した時にコロナで行うことが叶わなかった新歓のゲームを体験する機会も設けられ、(これが女学院の新歓だ)という経験を共有することができたと思います。最終日には伊万里で磁器について学んだ後、絵付け体験と散策に分かれて磁器の郷を満喫しました。この4泊5日は非常に多くのことを学び、経験する機会になったと思います。

(2024年度S2学年主任)

(中高部教諭)

## 2024年度 キャンパス見学会

日時：11月2日(土) 10時～15時

参加者：272組 587名

プログラム：

校内自由散策、模擬授業（英語・理科）、  
個別相談、受験教室公開、クラブ活動見学、  
ワークショップ、礼拝体験など

2024年度は上記1日のみ開催した。来場者は小学4年生、5年生が大半だったが、低学年の参加も2割ほどあった。

雨天の中、近畿圏からのみならず、北海道、宮城、東京、岡山、広島、香川、愛媛、大分など遠方からも多数来校していただいたことに感謝している。

(2024年度校務課長)

## 2024年度 「秋の子ども会」報告

日時：2024年11月23日(土) 10:00～15:00

場所：神戸女学院中高部葆光館・タルカット館・  
グラウンド

参加者：神戸真生塾の小学生20名  
神戸女学院高等学部生30名

内容：

10:00 子どもたちと高校生が神戸女学院に集合

10:00～12:00 室内で工作などして遊ぶ

12:00～12:40 昼食

\*高等学部自治会の生徒手作りのサンドウィッチ

12:40～13:40 グラウンドにて遊ぶ

13:40～15:00 おやつ・メッセージ交換

\*おやつは高等学部自治会の生徒手作りのみかん  
ゼリー

15:00 解散

(2024年度高等学部役員会顧問)

**2024年度 中高部冬山スキー**

日 程：12月21日～24日  
場 所：志賀高原／チウホテル  
概 要：インストラクターによるスキーの講習  
参加者：生徒45名  
引率教員6名

(中高部体育科教諭)

**2024年度 卒業生シリーズ礼拝**

2月3日(月) 卒業生 (137回)  
2月6日(木) 卒業生 (138回)  
2月17日(月) 卒業生 (135回)  
2月18日(火) 卒業生 (140回)  
2月20日(木) 卒業生 (139回)  
2月21日(金) 卒業生 (139回)

(中高部チャプレン)

**2024年度 マロニエ賞報告**

マロニエ賞とは、兵庫県下の知事所轄の私立学校に在籍する園児・児童・生徒及び教職員等に対し、スポーツ、文化等の各分野で顕著な成績をあげた人や団体に対し、知事より表彰される賞です。

2024年度受賞式：12月20日(金) 兵庫県公館

・本校からは2名の生徒が受賞  
・県全体では、12団体と32個人が受賞

高校3年

第16回日本地学オリンピック本選 金賞受賞

Earth Science Festival 2024 (台湾)

銅メダル受賞

中学2年

Amadeus International Music Awards

Violin GOLD PRIZE 受賞

(中高部部長)

## 第59回中高部長賞 第40回文化・スポーツ賞

賞の名前：中高部長賞

概要

中高部長賞とは、中学部と高等学部に分けて、すべてのクラブの1年間の活動資料（クラブノートの内容や活動状況、またクラブ部長生徒や顧問教員による自己評価）に基づき、中高部教員で組織された選考委員会で選考されたクラブに授与する賞です。高等学部では昨年度より1学期の終業日に、中学部では2学期の終業日に授与しています。

Jクラブ：コーラス部、ギター部、

バスケットボール部

Sクラブ：ESS部、ギター部、化学部、

バスケットボール部

賞の名前：文化・スポーツ賞

概要

文化・スポーツ賞とは、前年度の1月末からの1年間を通し、中高部の代表として各大会等に参加し、西宮・阪神地区で1位、また兵庫県・関西・近畿・全国、世界で3位以内の賞を獲得した中から、中高部長や中高部教員で組織された選考委員会で選考された個人や団体に授与する賞です。

文化賞：

- ・第26回あけてニッコリお弁当コンテスト  
優秀賞（兵庫県3位相当）
- ・日本地学オリンピック本選金賞
- ・第3回日本天文学オリンピック本選  
金賞（3位相当）
- ・地学オリンピック東アジア大会銅メダル
- ・第40回成田山全国読書大会読売賞、成田山賞
- ・第48回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会  
兵庫県大会団体戦優勝
- ・第48回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会  
兵庫県大会個人戦準優勝
- ・第3回全国高校生英語プレゼンテーションキャンプ  
GEMTalks 2024 審査員特別賞（全国3位相当）

- ・第29回全日本高校・大学書道展  
全日本高校・大学書道展賞（全国2位相当）
- ・第6回オンライン中学生英語プレゼンテーション  
コンテスト優秀賞
- ・第40回読売書法展入選
- ・the Amadeus International Music Awards  
Intermediate Talent Category Gold Prize
- ・第19回全日本小学生・中学生書道紙上展  
ベスト100（中3の中で全国第1位相当）
- ・税の書道西宮・宝塚租税教育推進協議会賞、  
西宮納税貯蓄組合連合会会長賞
- ・第32回薫英杯女子中学生英語スピーチコンテスト  
Advancedの部最優秀賞
- ・inochiKANSAI Forum 2024  
審査員特別賞（3位相当）
- ・中学生の「税についての作文」コンクール全国納  
税貯蓄組合連合会優秀賞、西宮税務署長賞、  
西宮納税貯蓄組合連合会会長賞
- ・第57回兵庫県私学総連合会 私学の書展  
みなせ筆本舗賞（2位相当）
- ・第70回青少年読書感想文兵庫県コンクール  
兵庫県知事賞（兵庫県1位）
- ・第48回兵庫県高等学校総合文化祭囲碁部門  
女子団体戦優勝、女子個人戦優勝
- ・第44回近畿高等学校総合文化祭囲碁部門  
男女混成団体優勝
- ・第13回近畿高校囲碁選手権大会  
女子団体第3位、女子九路盤戦第3位

スポーツ賞：

- ・第11回兵庫県中学校冬季テニス大会団体戦第3位
- ・第68回兵庫県中学校総合体育大会テニス競技  
団体3位
- ・第8回兵庫県高校サマーテニストーナメント  
優勝、第3位
- ・第77回西宮市民体育大会テニス大会少女ダブルス  
優勝
- ・第21回兵庫県中学校秋季テニス大会団体戦優勝

（2024年度中高部生徒課）

## 目 次

2025年——創立150周年を迎えて……………	1	中高部報告	
女子大学、変わらず……………	3	第32回薫英杯 女子中学生英語スピーチコンテスト…	54
150年のその先も……………	3	第42回朝日・関西アマ女流囲碁名人戦	
KCC だより……………	4	桜グループ（無差別）優勝……………	54
創立150周年に向けて……………	7	全日本高校・大学生書道展 全日本高校・大学生書道展賞…	55
神戸女学院創立150周年記念展示Ⅲ		第70回青少年読書感想文コンクール	
「Bridging Generations		全国学校図書館協議会長賞……………	55
—神戸女学院の150年と織りなす未来—」開催について…	8	令和6年度（第27回）お弁当・おむすびコンテスト	
2025年度 愛校バザー報告……………	9	最優秀賞（兵庫県知事賞）……………	56
創立150周年記念募金……………	12	第24回砂金掘り大会 男女一般の部第1位、総合の部優勝…	56
2024年度 神戸女学院家庭会幹事会報告……………	12	未来クリエイターズアワード 2024……………	57
チャプレン室報告……………	13	2025年度 中学部入学試験結果報告……………	57
2025年度 年間標語……………	14	2025年度 春の遠足……………	61
大学報告		2025年度「春の子ども会」報告……………	61
大学改革の取り組み……………	15	2025年度 J1 デイキャンプ報告……………	62
地域連携の取り組み……………	16	2025年度 体育祭報告……………	62
国際連携の取り組み……………	17	2024年度 中高部教職員研修会 報告……………	63
大学新棟『小林季子記念館』での教育研究の展望…	17	2024年度 芸術鑑賞会……………	64
学部報告……………	18	2024年度 S校内大会……………	64
2024年度 神戸女学院大学図書館報告……………	28	2024年度 J校内大会……………	64
2025年度 大学・大学院入学試験結果概要…	29	2024年度 中高部 夏休み中の行事……………	65
2024年度 進路状況報告……………	29	2024年度 文化祭……………	66
2025年度 在籍学生数……………	30	2024年度 中高部 秋の行事……………	67
2024年度 留学・海外研修、2025年度 前期受入れ留学生報告…	31	2024年度 S2 修学旅行……………	67
2024年度 夏期インターンシップ実施報告…	31	2024年度 キャンパス見学会……………	68
2024年度 クローバー賞表彰式……………	32	2024年度「秋の子ども会」報告……………	68
2024年度 めぐみ会賞表彰式……………	32	2024年度 中高部冬山スキー……………	70
2024年度 研究所活動報告……………	50	2024年度 卒業生シリーズ礼拝……………	70
2024年度 ジェンダーインスティテュート活動報告…	52	2024年度 マロニエ賞報告……………	70
		第59回中高部長賞、第40回文化・スポーツ賞…	71

下記ページは個人情報保護等のため掲載しておりません。ご了承ください。

10, 26, 33, 42, 44, 48, 49, 58, 59